保　証　書

本証書は、裏面に記載の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。
ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

ご購入後、ご使用になる前にご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

(製造番号は本体のベース背面に記載されております。)

商品名 エールベベ・クルット NT エールベベ・クルット NT2	製造番号 ※L12B123456などの英数字
保証期間　ご購入日より4年間 (但し保証規定による)	ご購入日　年　月　日
お名前 ご住所　〒 TEL.	ご購入店名 住所　〒 TEL.

修理メモ

- - - - - - - - - - - - - - - - - キリトリ線 - - - - - - - - - - - - - - - - -

お問合わせ先

★商品のお問合わせや、替えカバーなどのパーツ購入については……

カーメイトサービスセンター

TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

パソコンからは…http://www.carmate.co.jp/support/

電話受付時間〈平日〉10:00~18:30
〈土・日・祝〉10:00~12:00/13:00~18:30

★年始および盆期間の一部等は休業日とさせて頂きますのでご了承ください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

株式会社**カーメイト**
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

CARMATE

2046-70576E

エールベベ・クルットNT/エールベベ・クルットNT2
取扱説明書

●本品は正しい使用および取付けをしないと本来の性能を発揮できません。本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。また、取付ける車を変更する場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。
●本書の内容を十分にご理解の上ご使用ください。記載内容にご不明な点がありましたら、当社サービスセンターにお問合わせください。

本品はヨーロッパ安全基準 ECE R44/04 において下記条件で認可された商品です。
(グループ：0+、I 、セミユニバーサルカテゴリー)
●お子さまの体重2500g~18kgのみ使用可能
●当社の適合情報にて取付け可能な車の座席のみ使用可能
詳しくは本書の各項目をご覧ください。

⚠警告　本品が入っているビニール袋は、開封後すぐにやぶり捨ててください。
お子さまがかぶられますと窒息等の事故に至る可能性があり大変危険です。

http://www.carmate.co.jp

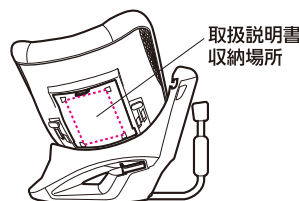
〜 はじめに 〜

このたびは、弊社チャイルドシートをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品を安全に正しくお使いいただくために、必ずご使用前に本書をよく読み、内容を十分に理解していただきますようお願いいたします。
誤った取付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。
また、取付ける車を変更する場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。

●車種適合の確認方法
店頭で･･･「エールベベ　車種別適合表」
パソコンで･･･http://www.carmate.co.jp
ケータイで･･･http://db.carmate.co.jp/m/childmatching.html
ケータイの場合、こちらのQRコードからもアクセスできます。▶

ご不明な点がございましたら、巻末に記載のカーメイトサービスセンターへお問い合わせください。

●本品を譲られる場合は、以前に事故や破損がないことをご確認の上、次に使用されるかたのために本書および付属品も合わせてお渡しください。

●取扱説明書はお読みになった後も、ご使用ごとに必要となりますので、リアカバー内側に大切に保管してください。

本品は、車での衝突や急停車などによるお子さまの傷害を軽減することを目的とした年少者用補助乗車装置です。
必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。
安全運転の心がけをお願いいたします。

●本品は万全な品質管理体制のもとに製造されておりますが、万一、本品に関する製造上の問題等が生じた場合、直ちにお客様にお知らせするために登録システムへのご協力をお願いいたします。お手数ですが同梱されておりますお客様登録カードに必要事項をご記入の上、ご投函いただくか、パソコンまたは携帯電話からご登録ください。

お客様の登録システムについて

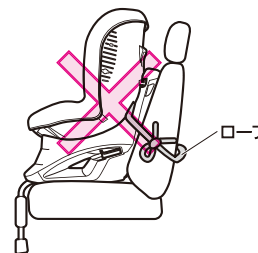
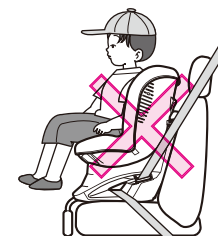
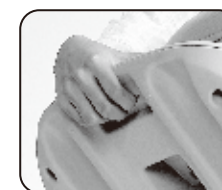
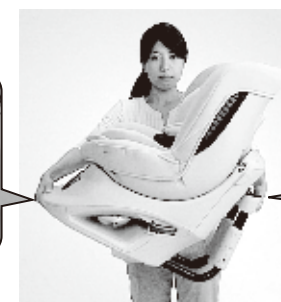
ご登録頂きましたお客様へ、安心の『トリプル保証』でサポートさせて頂きます。

① 4年間の製品ロング保証
② 万一の交通事故の際にチャイルドシート無料交換 (保証期間4年)
③ チャイルドシート見舞金制度 (保証期間1年)

注）詳細は同梱の「トリプル保証 お申し込みのご案内」をお読みいただき、ご登録ください。
注）他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。

ご使用時に注意していただきたい項目

●車のシートベルトを必ず使用して固定する。

●お子さまは必ず本品のハーネスを使用する。

●お子さまの体格にあった使用方法を守る。

●本品の正しい持ちかた

ベース底面のくぼみにしっかりと指をかけてください。

サポートレッグをしっかりとにぎってください。

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。
それぞれの記号とその内容は下記のとおりです。

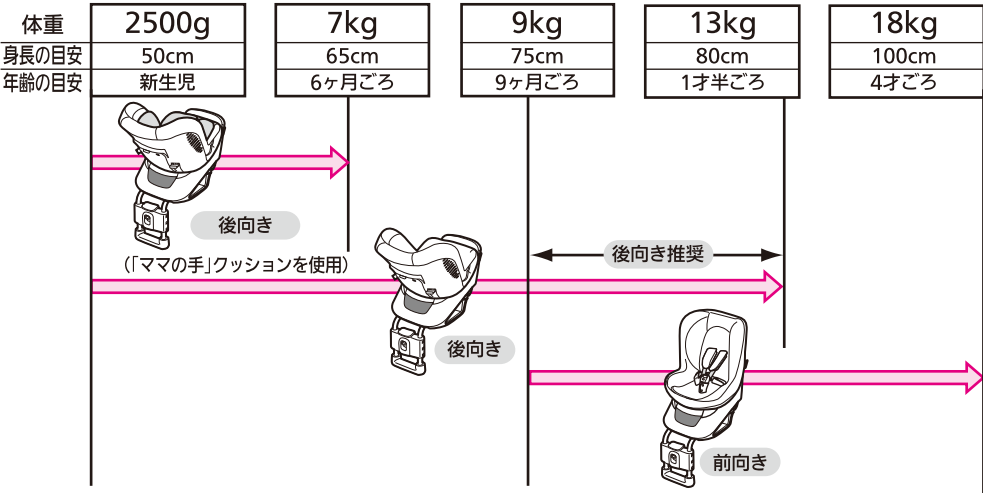
記号	内容
⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
⚠注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生ずるおそれがあります。
参考	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

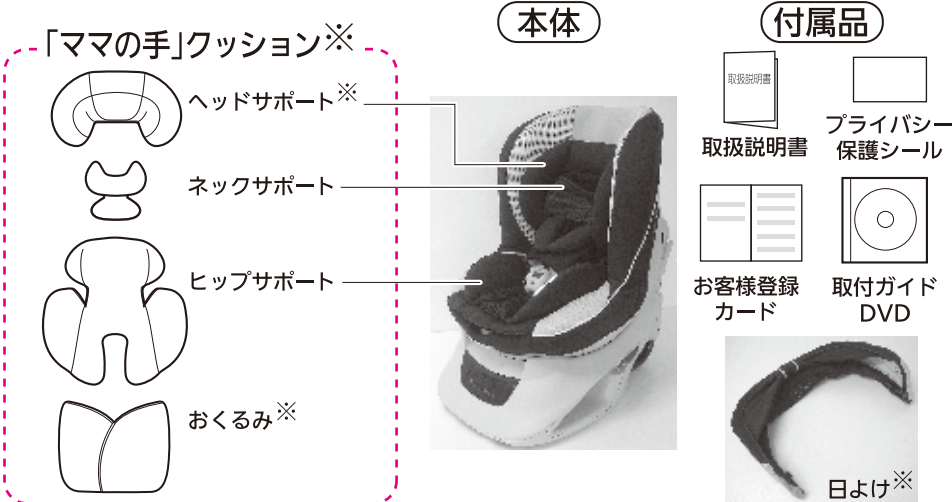
目 次

適応条件

本品は体重により使用する向きが異なります。身長や年齢が条件を満たしている場合でも、体重が適応条件にあてはまらない場合には体重に合わせてご使用ください。

参考
お子さまの体重が9kg～13kgの間は後向き・前向きのどちらでも使用できます。ただし、13kgまではより安全な後向きでのご使用を推奨します。(小さなお子さまは、骨格が未熟なため衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止めるのが理想です。)

体重	2500g	7kg	9kg	13kg	18kg
身長の目安	50cm	65cm	75cm	80cm	100cm
年齢の目安	新生児	6ヶ月ごろ	9ヶ月ごろ	1才半ごろ	4才ごろ

梱包内容の確認

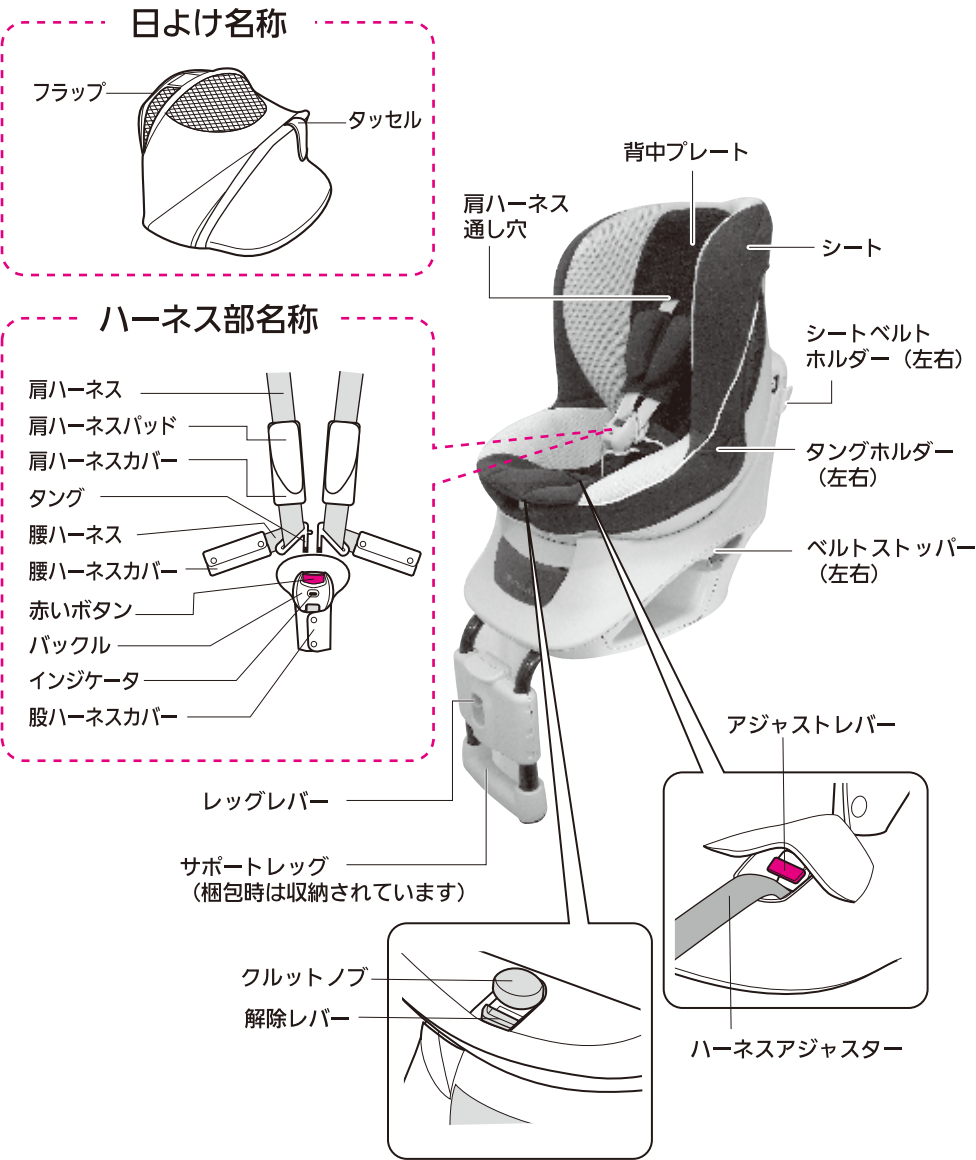
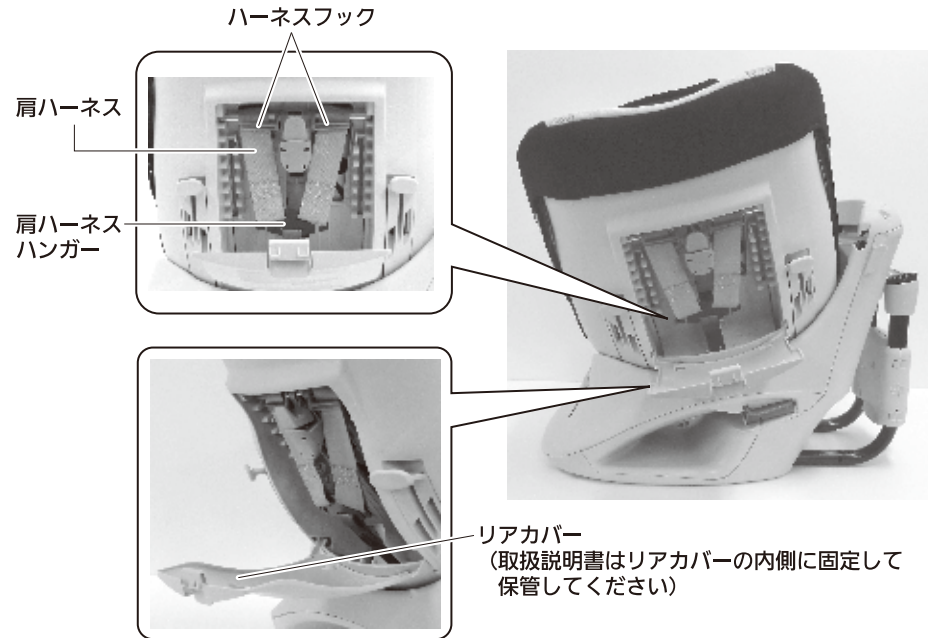
初めに梱包内容を確認して、万一不足部品がありましたら本書記載のサービスセンターへご連絡ください。

※日よけ及び「ママの手」クッションは、グレードにより仕様や付属品が異なります。

各部の名称

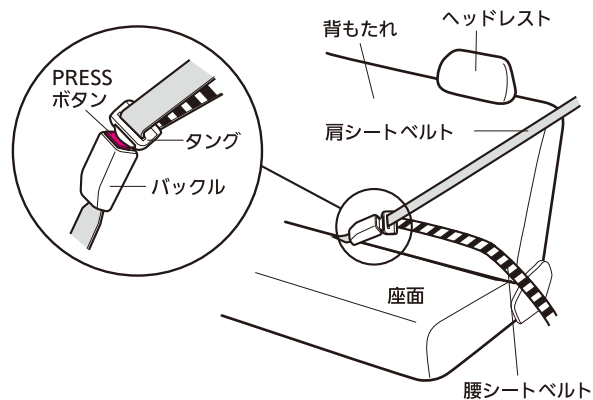
正面

●本体カバー、ハーネスカバー類はグレードにより仕様が異なります。
●日よけはグレードにより付属されていない場合があります。

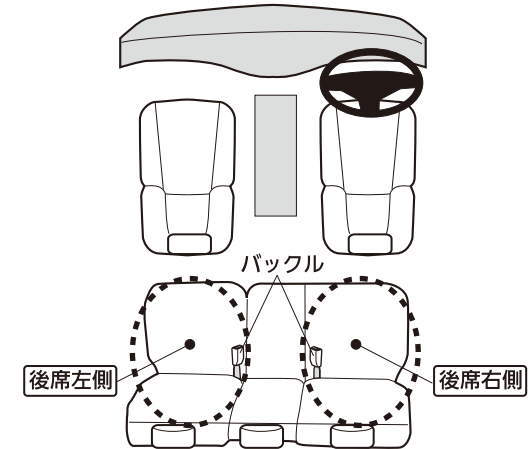
背面

リアカバー
（取扱説明書はリアカバーの内側に固定して
保管してください）

車のシートベルトの名称

車のシートベルトの名称について本書では以下のように説明しています。

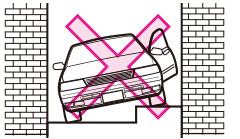
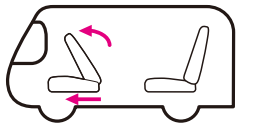
参考

本書では車のシートベルトのタングより上側を肩シートベルト、下側を腰シートベルトと呼んでいます。

取付座席の名称

取付座席の名称について本書では以下のように説明しています。
（イラストは車内を上から見たものです。）

●本品の取付けに使用するバックルがある方をバックル側と呼んでいます。

安全に正しく取付けをするために

車に本品を取付ける前に、作業スペースを確保してください。

●取付作業は本品の持ち運びができ、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

●取付作業は、前席を倒したり、スライドさせて、できるだけ車内の作業スペースを確保してください。

●取付座席にスライド機能がある場合は、後ろにスライドさせてください。

⚠警告

取付後はスライドを動かさないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

取付けできるシートベルト

本品はヨーロッパ安全基準ECE規則No.16または同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトのみご使用頂けます。

3点式シートベルト

2点式シートベルト

ただし、使用できない車種がございます。
本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。また、取付ける車を替えられる場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。

●車種適合の確認方法

店頭で･･･「エールベベ　車種別適合表」
パソコンで･･･http://www.carmate.co.jp
ケータイで･･･http://db.carmate.co.jp/m/childmatching.html

ケータイの場合、こちらのQRコードからもアクセスできます。▶

ご不明な点がございましたら、巻末に記載のカーメイトサービスセンターへお問い合わせください。

シートベルトの種類

シートベルトの種類による取付け時の注意事項を下記の表でご確認ください。

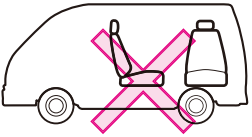
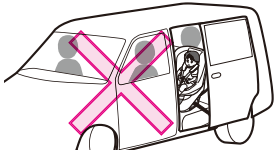
シートベルトの種類	シートベルトの特徴	本品使用時の注意事項	使用可否
ELR （緊急時ロック式巻取装置）機能付 腰ベルト側にELR機能があるものを除く。	自動で巻取られ、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれるとロックされます。	取付け時には、シートベルトを急速に引かずゆっくりと引き出しながら取付けをしてください。	○
ALR/ELR （チャイルドシート固定）機能付	ELR機能の特徴に加え、ベルト巻取装置から全部引き出すとALR機能が働きシートベルトがロックされ、巻取ることしかできなくなります。全て巻取るとロックは解除されます。	ALR機能を作動させないように、シートベルトを必要な分だけ引き出しながら取付けを行ってください。	○
ALR （自動ロック式巻取装置）機能付	シートベルトを引き出し、止めた位置でロックされます。	シートベルトを途中でロックさせないように全て引き出してから取付けをしてください。	○
NR （マニュアル）方式	長さを手動で調整して使用します。	使用前に長さ調整をして取付けをしてください。	○
その他	上記特徴にあてはまらないもの。	本品は使用できません。	×

取付けできない座席・シートベルト

⚠警告

車の装備による場合

●エアバッグが装備されている座席
エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって死亡や重傷に至る危険性があります。なお、エアバッグを無作動にできる場合は車の取扱説明書に従ってください。（サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。）

●車の進行方向に対して横向きおよび後向きの座席
衝突の際に、お子さまが放出される危険性が高くなります。

●他の同乗者の出入りを妨げる座席。（片側スライドドアの入り口側座席など。）
事故などの緊急事態にチャイルドシートが妨げになって脱出できないおそれがあります。

●シートベルトに損傷がある座席
事故等の際に、本品ごとお子さまが投げ出されるおそれがあります。損傷がある場合は、自動車ディーラー等で交換してください。

●補助座席および幼児専用座席

●座席以外のピラーやドア等の車両構造物に本品が接触する座席

取付けできない座席・シートベルト

⚠ 警告

座席およびシートベルトの種類による場合

●助手席
衝突時、他の座席より損傷を受ける可能性が高く危険です。

●サポートレッグが接する車の床に1cm以上段差がある座席

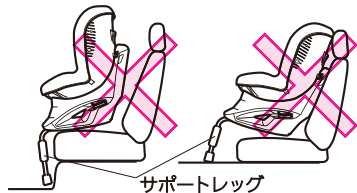
サポートレッグ

●サポートレッグが車の床に届かない又は、短くしてもベースがういてしまう座席

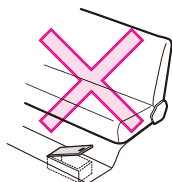
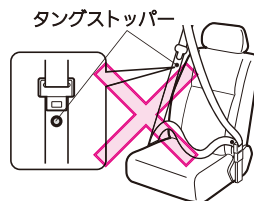
●サポートレッグが接する車の床の部分が収納スペースや小物入れになっている座席

●2点式シートベルトの座席

●スポーツタイプシート、およびスポーツタイプシートベルトが装着されている座席
エールベベ車種別適合情報で取付け可能としている場合を除く。

●シートベルトがついていない座席
本品の取付けができません。

●パッシブシートベルト（ドアを閉めると自動的に装着されるシートベルト）の座席
本品の取付けができません。

●腰シートベルト側にELR（緊急ロック式ベルト巻取装置）がある座席

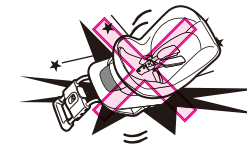
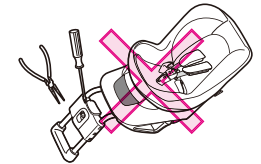
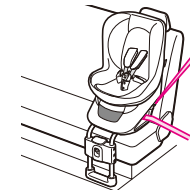
●その他のシートベルト
10ページ「取付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト

●タングストッパーが高い位置にある座席
タングストッパーが干渉し、締付けができません。

安全にお使いいただくために

警告・注意事項

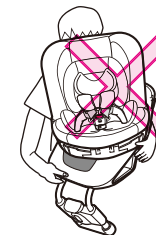
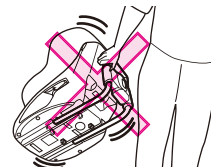
取扱上守るべき重要な項目ですので必ずお読みください。

⚠ 警告

保管や未使用時

●事故や落下により本品が強い衝撃を受けた場合は、本品の使用をおやめください。外観上破損が見えなくても強度が下がっている場合があります。油性ペン等で本品に「廃棄」「事故品」等を明記のうえ廃棄してください。

●本品を改造しての使用、または本書に記載されていない取付けや使用は、しないでください。本品の性能が十分に発揮できません。

●お子さまが乗っていないときでも必ず車のシートベルトで本品を固定してください。急ブレーキなどで本品が車内を転がり、事故につながるおそれがあります。

●本品にお子さまを乗せたまま持ち運ばないでください。持ち運ぶ際に不安定になり落下のおそれがあります。（本品の正しい持ちかた→ P3）

⚠ 注意

●本品を持ち運びの際は、回転およびサポートレッグを必ずロックしてください。
（本品の正しい持ちかた→P3）

●本品を回転させる際は逆さまや横にせず、必ずベース底面を平らな場所に置いてください。

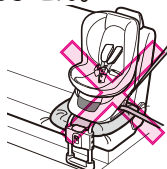
●サポートレッグだけを持っての持ち運びはしないでください。

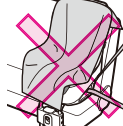
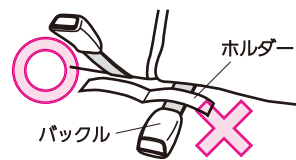
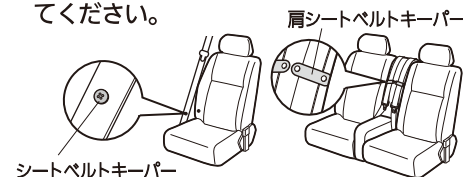
警告・注意事項

⚠警告

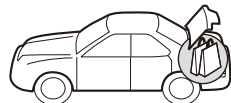
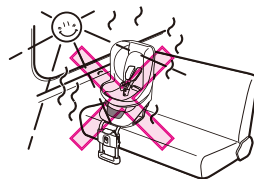
ご使用前に

●サポートレッグを収納したまま本品を取付けないでください。

●車のシートにクッションや座ぶとんを敷いて取付けしないでください。本品の性能が十分に発揮できません。

●本品のカバーやクッションを外しての使用、または当社指定以外のカバーを取付けるなど付加しての使用はやめてください。本来の性能が十分に発揮できません。

●本品は必ず車のシートベルトで固定してお使いください。シートベルト以外で固定すると本品が脱落したり、衝突の際にお子さまが投げ出されて危険です。市販のベルトやロープ等は、使用しないでください。

●バックルをホルダー等から外して、取付けてください。

●シートベルトキーパーを外してから取付けてください。

⚠注意

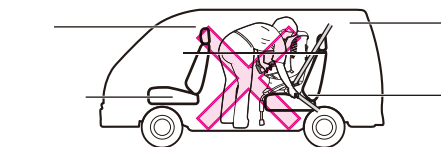
●本品は、車内専用品のため、車外では使用しないでください。破損や怪我の原因となります。

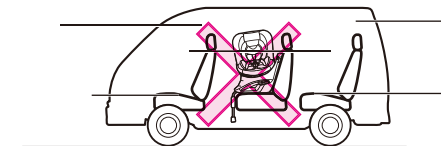
●衝突の際にお子さまや他の同乗者に傷害を与える可能性のある荷物などは適切に固定するか、トランク内に収納するようにしてください。

●本品を直射日光にさらさないでください。金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをするおそれがあります。また陽射しが強い日には熱くないことを確認してからご使用ください。

取扱上守るべき重要な項目ですので必ずお読みください。

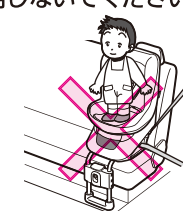
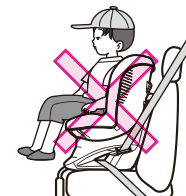
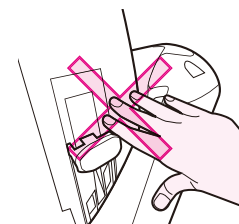
⚠警告

ご使用中に

●本品の取付確認後に取付座席をスライドまたはリクライニングはしないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

●走行中に本品の取付けや操作をしないでください。本品の取付け状態の確認および操作は、安全な場所に停車して行ってください。

●お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子さまを車内に置き去りにしないでください。特に夏場は車内が高温になり大変危険です。

●本品のシートを横向きに回転したまま走行しないでください。

●適応条件に合わないお子さまには使用しないでください。

●本書に従い正しい乗車姿勢でお使いください。お子さまを立たせたり、中腰、正座をした状態で使用しないでください。

●本品を回転、リクライニングするときは可動部に手をかけないでください。

●お子さまの上着やズボンなどにおもちゃなどが入ってないことを確認してください。
お子さまと本品の間に物がはさまり、ケガの原因となります。

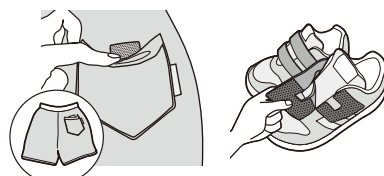
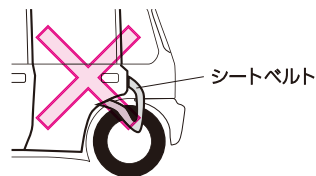
警告・注意事項

取扱上守るべき重要な項目ですので必ずお読みください。

⚠注意

ご使用中に

●本品の取付けや使用の際に本品や、シートベルト等をドアまたは座席の間等に挟まないようにしてください。

●お子さまの靴や衣服の面ファスナーが本品のカバーに触れる（引っかかる）と生地が傷むおそれがあります。

参考

●お子さまのために休憩をとりましょう。長時間同じ姿勢でいると、ぐずる要因になります。

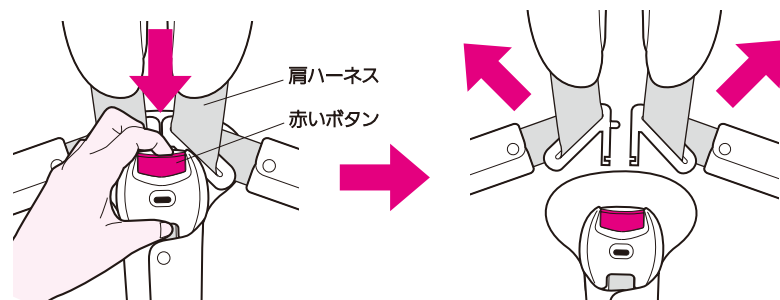
●走行中は、お子さまに飲食物を与えるのはひかえてください。万一の時に、お子さまが喉に飲食物を詰まらせることがあり危険です。

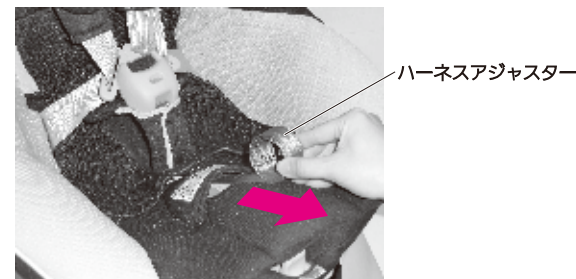
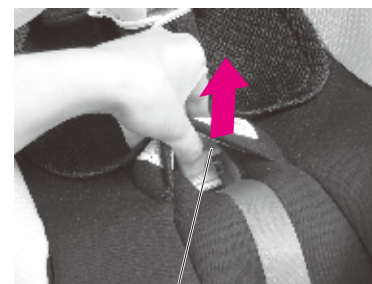
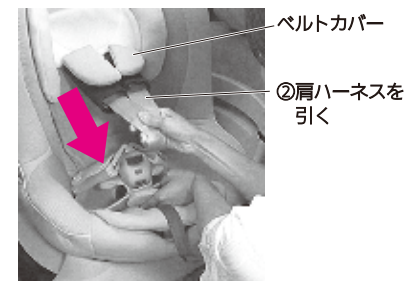
⚠注意

ご使用後に

●車のシートに取付け跡が残る場合があります。

緊急事態には

事故などの緊急事態には、バックルの赤いボタンを下に押して肩ハーネスをお子さまの腕からはずし、すみやかに安全な場所へ避難してください。

肩ハーネスのゆるめかた

1 ハーネスアジャスターを取出します。

2 アジャストレバーを上げながら（①）、両方の肩ハーネスを引くと（②）、肩ハーネスがゆるみます。

参考

ベルトカバーを引いても、肩ハーネスをゆるめることができません。（ベルトカバーはシートの裏側で固定されています）

肩ハーネスの締めかた

1 ハーネスアジャスターを引くと（①）、肩ハーネスが締まります（②）。

参考

肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを外した状態でハーネスアジャスターを引くと、肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまいます。

背面
肩ハーネス
肩ハーネスハンガーから肩ハーネスが外れている
肩ハーネスハンガー

肩ハーネスハンガーからハーネスを外した際は（カバー洗濯時等）下記のように仮置きすると肩ハーネスハンガーが奥に入り込むことを防止できます。

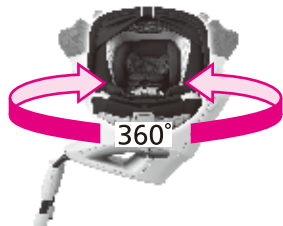
安全にお使いいただくために
ご使用いただく前に

回転の操作方法

本品のシートは360゜回転し、前向きと後向きでのみ固定することができます。

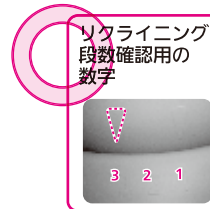
●シートが360゜回転します。　●シートは前向きと後向きで固定します。

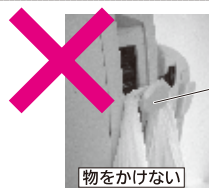
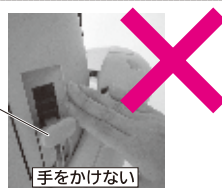
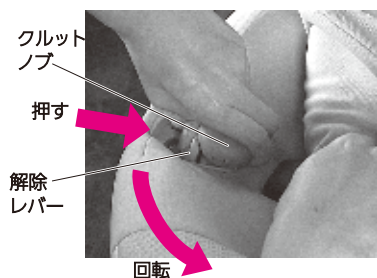
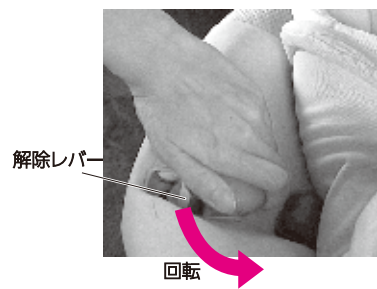
前向き

後向き

⚠注意

シートを回転させる時は、必ず『リクライニングを3段目の位置』にしてください。
リクライニングが1段目、2段目の位置では回転できませんので、ご注意ください。

リクライニングが3段目のときのみ回転できます。

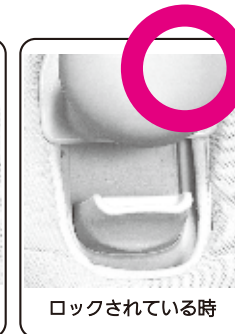
リクライニングが1段目、または2段目では回転できません。

⚠警告

シート背面の突起はシートとベースを接続する部品です。手や物をかけた状態で回転動作を行わないでください。怪我や動作不良の原因となります。

1 クルットノブを握りながら解除レバーを押し、シートを少し回転させるとロックが解除されます。

2 ロックが解除されたら解除レバーから手を離して回転させます。

ご使用いただく前に

3 そのまま後向きの位置までシートを回転させるとロックが掛かります。

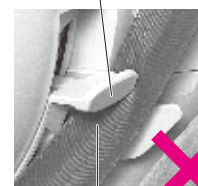
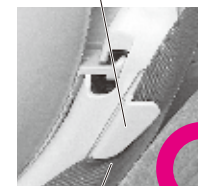
⚠警告

シートが必ずロックされたことを確認してください。

ロックされていない時

ロックされている時

4 後向きから回転させる時もクルットノブを握り解除レバーを押し、シートを少し回転させるとロックが解除されます。

⚠注意

●シートを回転させる際、同乗者の方が手を出してシートとベースの間に指をはさまないよう注意してください。
●シートを回転させた時、車種によってはシート背面の突起が肩シートベルトに引っかかり、ベルトに傷をつける場合があります。引っかかる場合は、回転操作をする時だけ肩シートベルトをシートベルトホルダーにかけてご使用ください。

シートベルトホルダー

肩シートベルト

●車種によりシートベルトがシートベルトホルダーにかからない場合があります。シートベルトロック機能（ALR）が作動している場合がありますので、作動しないように取付けし直してください。
(シートベルトの種類→P.10参照)

リクライニングの操作方法

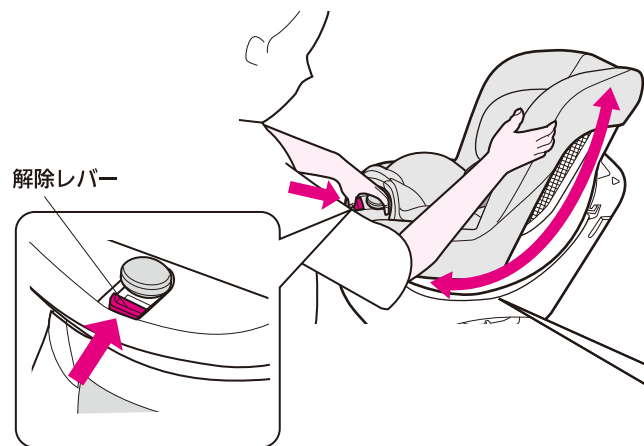
本品は3段階のリクライニングができます。後向きではリクライニングできません。
（出荷時には3段目の位置になっています。）

後向き

リクライニングできません。

前向き

両側面にリクライニング段数確認用の数字があります。

解除レバーを押してシートを前後にゆっくりスライドさせる。

両側面にリクライニング段数確認用の数字があります。

参考

後向きではリクライニングできません。

日よけの使用方法

●日よけはグレードにより仕様が異なり、付属されていない場合があります。

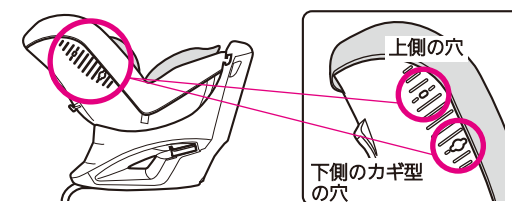
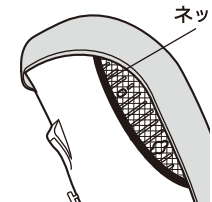
使用期間の目安

お子さまの頭が日よけにかからない間は、日よけを使用することができます。

⚠警告

日よけをご使用中にお子さまの頭が日よけにかかる場合や、お子さまの乗せ降ろしの際に、日よけが妨げになる場合は、日よけを取外してください。

取付方法

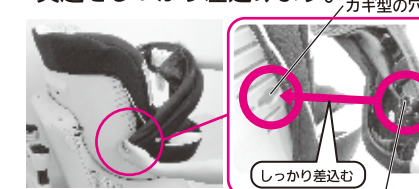
●日よけは本体の左右側面の穴（上下2ヶ所）に固定して取付けます。左右片側ずつ順番に取付けます。

●本体側面のネットが出ている場合はしまってください。

⚠注意

日よけを取付ける際、カギ型の突起をしっかり差込んでいない状態で矢印の方向に動かすと、本品が破損するおそれがあります。

参考

日よけの取付、取外し方法を動画で確認できます。

1 本体と日よけの方向に注意して取付けてください。

2 下側のカギ型の穴に日よけのカギ型の突起をしっかり差込みます。

次ページへ続く→

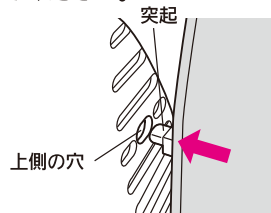
日よけの使用方法

取付方法

3 しっかり差込んだままの状態で矢印の方向に日よけを動かします。

ここはしっかり差込んだまま矢印の方向に動かす

矢印の方向に動かすと、日よけの上側の突起が本体に当たり、動かしにくくなりますが、日よけを外側に少し広げて矢印の方向に動かしてください。

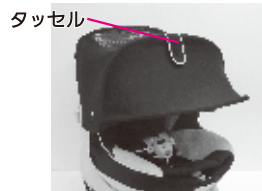
4 本体の上側の穴に日よけの突起をしっかり差込みます。１～４を反対側も行ってください。

5 日よけのフラップを整えます。

6 取付け完了です。

調節方法

この範囲は任意の角度に保持できます。

この範囲の開閉はタッセルを使って行います。

タッセルを使用すると半分だけ閉じることが出来ます。

タッセル

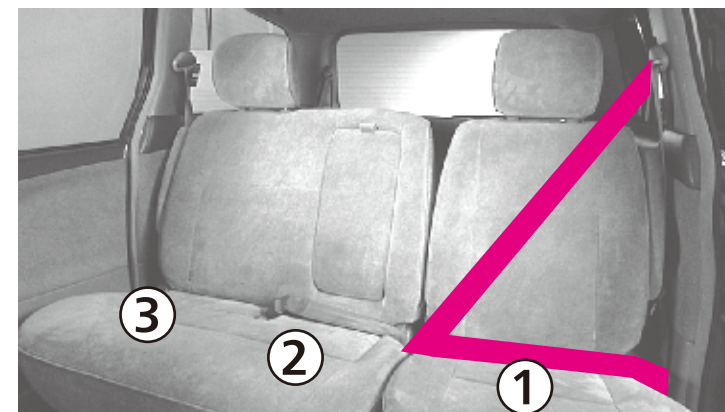
タッセルのホックと日よけの内側にあるホックを止めます。

（完成）

⚠ 注意

- ●本品を持ち運ぶ際は日よけ部分を持たないでください。破損するおそれがあります。
- ●日よけを無理やり折り曲げたりねじったりしないでください。破損するおそれがあります。

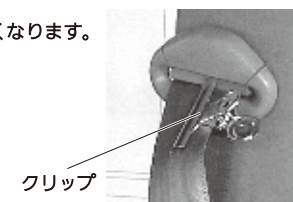
～ はじめに ～

本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。
また、取付ける車を替えられる場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。

本書では２列目左側 ① の座席で取付けの説明をしています。

●中央 ② に取付ける場合
車のシートベルトが本書とは左右逆の場合がありますので、その際は左右対称に取付けてください。

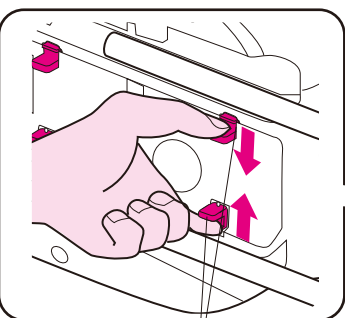
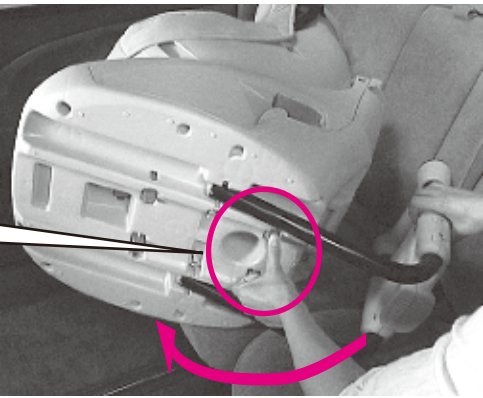
●右側 ③、または3列目右側に取付ける場合
車のシートベルトが本書とは左右逆になりますので、左右対称に取付けてください。

ワンポイントアドバイス

あらかじめクリップ等で、シートベルトを留めておくと、取付作業がしやすくなります。
取付作業終了後は、必ずクリップを外してください。

STEP 1 サポートレッグの調節

1 ベース底面のサポートレッグ解除レバーをつまみながらサポートレッグをベース背面から回転させ固定します。

⚠注意

作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせて作業してください。
指をはさんだり、周囲のものにぶつけないように注意してサポートレッグを回転させてください。

●固定した後は本体を手で支えてください。本体を横向きにして車のシートに置いたままにすると落下の原因になります。

⚠警告

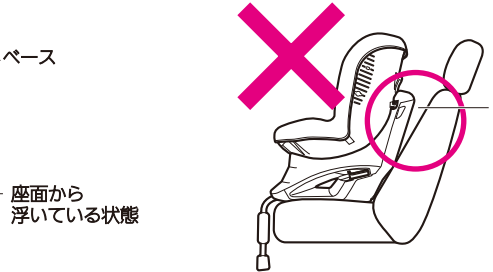
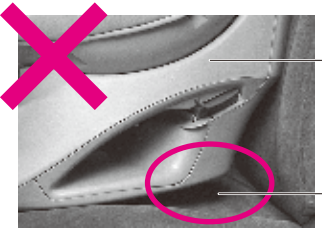
サポートレッグは確実に固定してください。固定されていないと本来の機能を発揮できません。

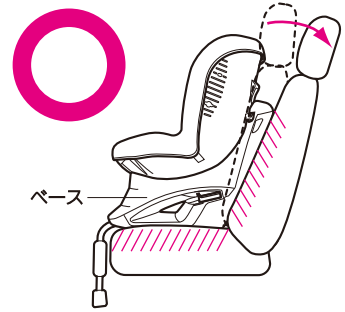
車への取付方法

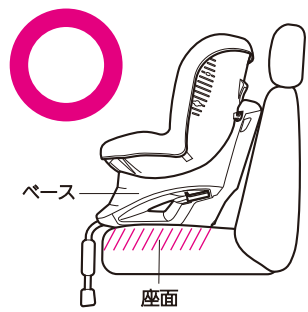
2 ベースを車の座面と背もたれに押しつけるように置きます。
車のヘッドレストが本品に干渉する場合はヘッドレストを取外してください。

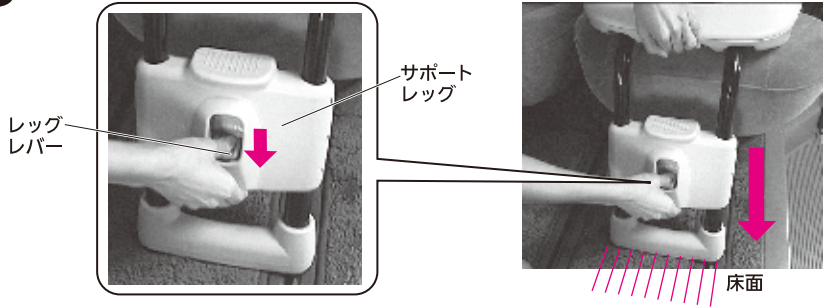
参考

リクライニングの段数によりシートが車の座席に干渉することがあります。

車のシートとベースに隙間ができる場合

〈対処方法〉

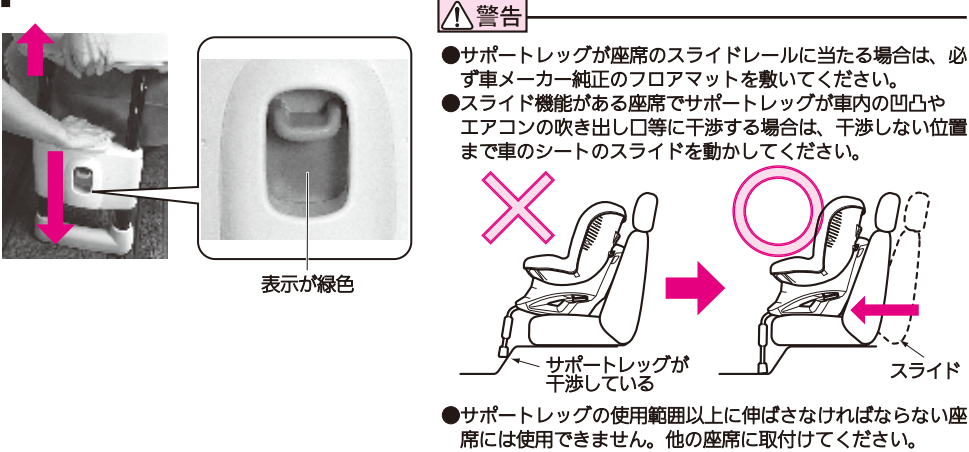
●車のシートにリクライニング機能があれば、リクライニングを調節してベースを密着させてください。

●車のシートにリクライニング機能がない場合は、ベース底面を座面に密着させてください。

次ページへ続く→

STEP 1 サポートレッグの調節

3 レッグレバーを握り、サポートレッグが車の床面に接するように調節します。

4 ロックされるまで（表示が緑色になるまで）少し伸ばします。

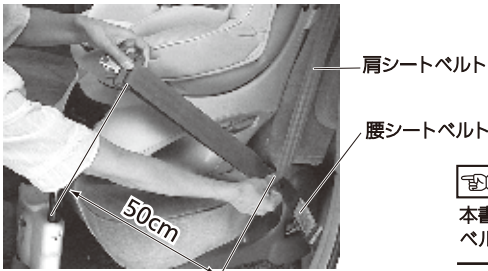
⚠警告

●サポートレッグが座席のスライドレールに当たる場合は、必ず車メーカー純正のフロアマットを敷いてください。
●スライド機能がある座席でサポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口等に干渉する場合は、干渉しない位置まで車のシートのスライドを動かしてください。

●サポートレッグの使用範囲以上に伸ばさなければならない座席には使用できません。他の座席に取付けてください。

STEP 2 シートベルトの取付け

5 シートベルトを引き出し､腰シートベルトと肩シートベルトを５０ｃｍ程度重ね合わせます。

参考

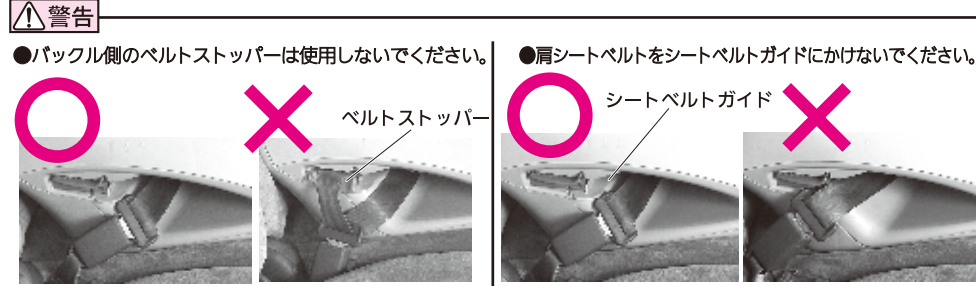
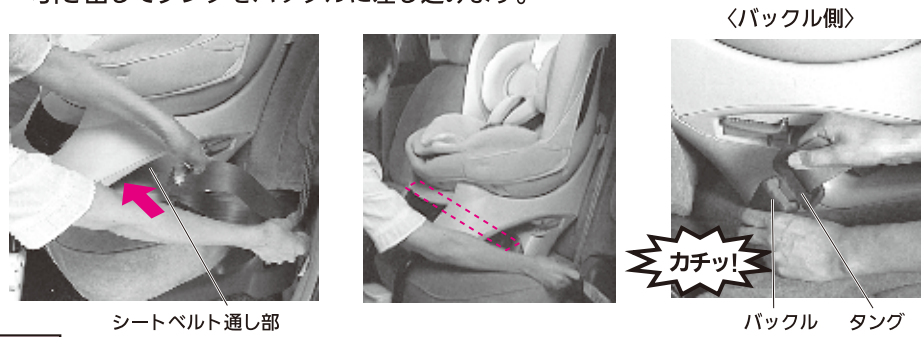
本書では車のシートベルトのタングより上側を肩シートベルト、下側を腰シートベルトと呼んでいます。

STEP 2 シートベルトの取付け

6 重ね合わせたシートベルトがねじれないようにシートベルト通し部に通し、バックル側へ引き出してタングをバックルに差し込みます。

〈バックル側〉

⚠警告

●バックル側のベルトストッパーは使用しないでください。

●肩シートベルトをシートベルトガイドにかけないでください。

7 肩シートベルトを引っ張り、腰シートベルトのたるみを取ります。

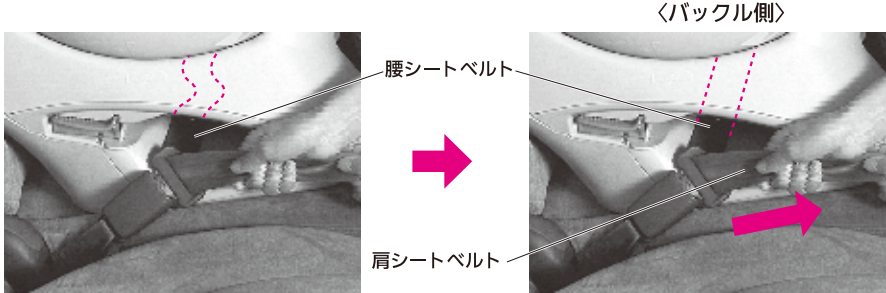
〈バックル側〉

⚠警告

バックルが後方にあり上を向いている座席や、シートベルトが高い位置にある座席ではシートベルトを引っ張っても正しく取付けできない場合があります。
ご不明な点は当社サービスセンターまでお問合わせください。

バックルが後方にあり上を向いている

シートベルトが高い位置にある

次ページへ続く→

STEP 3 シートベルトの締付け

8 バックルの反対側で本品のベースを手でおさえながら、肩シートベルトを矢印方向に強く引っ張ります。

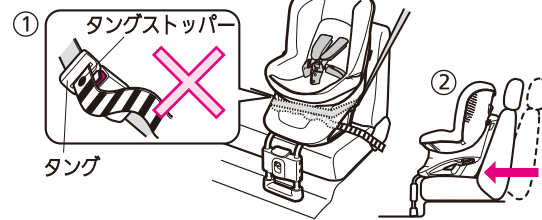
強く引っ張る

肩シートベルト

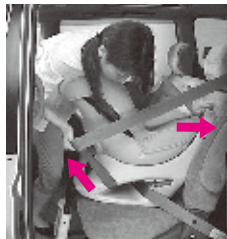
参考

肩シートベルトはベースの前方向に引っ張るとしっかり締め付けることができます。

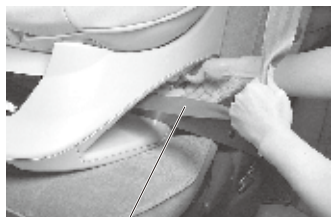
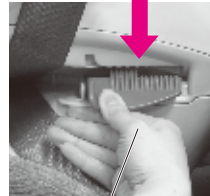
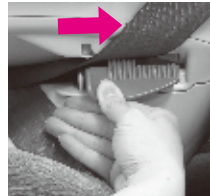
⚠警告

スライド機能がある座席でタングストッパーがタングに干渉して、シートベルトを強く引っ張ってもしっかり固定できない場合は(①)、車のシートのスライドを動かしてから(②)、再度取付けてください。

ドアが開閉しない座席の場合

（2ドア車、3列目シートなどに取付けする場合）

●本体を下に押しつけながらベルトを引っ張る。

●シートの前から背もたれに押しつけながら引っ張る。

●本体を下に押しつけながら取付座席の隣の座席から引っ張る。

9 肩シートベルトを引っ張ったまま、ベルトストッパーを下げ（①）、ベルトストッパーの奥まで肩シートベルトを差し込み（②）、ベルトストッパーを「カチッ」と音がするまで奥へ押し込み、確実にロックします（③）。

肩シートベルト

①ベルトストッパーを下げる。

②ベルトを奥まで差し込む。

③ベルトストッパーを押し込み、確実にロックする。

取付後の確認方法

正しく取付けられていない場合は、最初からやりなおしてください。

ベースを前後左右にゆすり、ベース部分が2cm以上ずれない。

バックル側

バックルが差込まれている。

バックル側のベルトストッパーは使用していない。

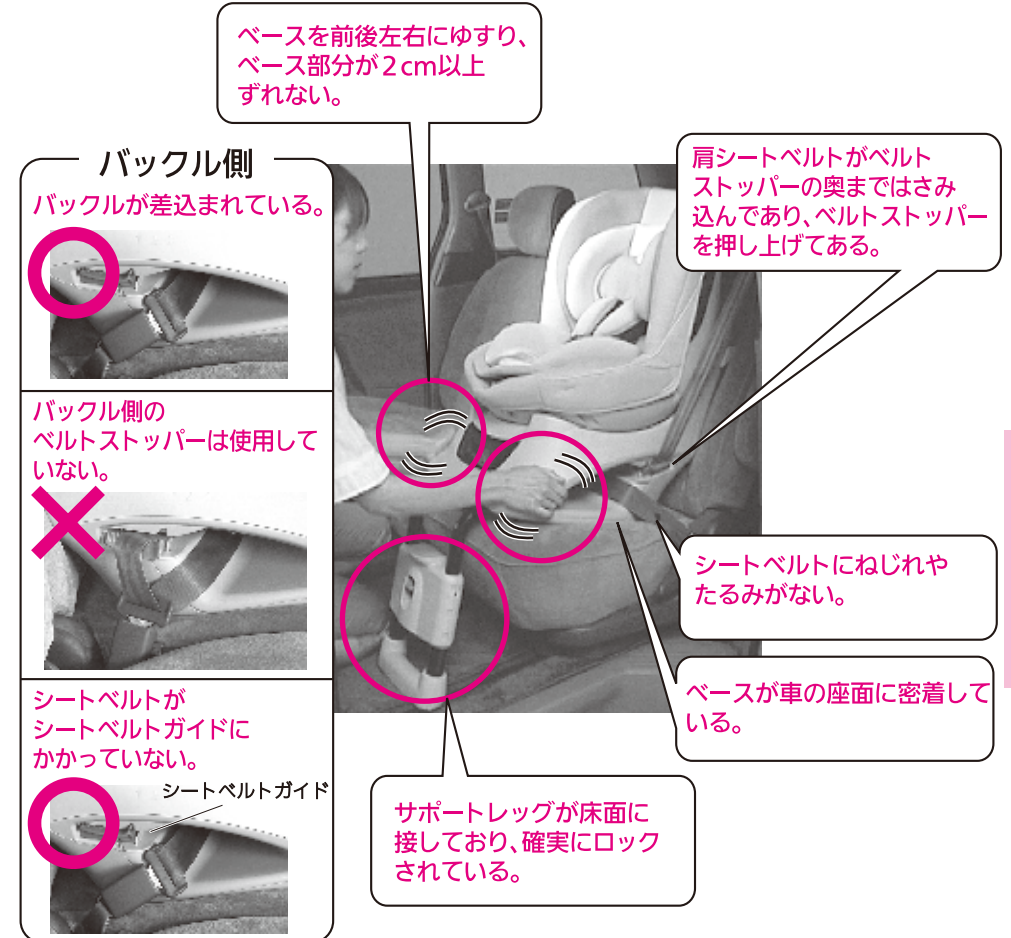
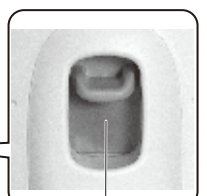
シートベルトがシートベルトガイドにかかっていない。

シートベルトガイド

肩シートベルトがベルトストッパーの奥まではさみ込んであり、ベルトストッパーを押し上げてある。

シートベルトにねじれやたるみがない。

ベースが車の座面に密着している。

サポートレッグが床面に接しており、確実にロックされている。

サポートレッグが浮いている場合は、サポートレッグが車の床面に接するまで伸ばしてください。適正な位置に調節されない場合は、少し伸ばして調節してください。

表示が緑色

肩ハーネスの調節方法

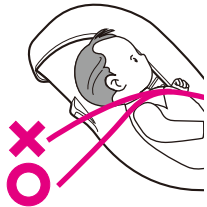
本品はお子さまの成長に応じて、肩ハーネスの高さを変えて使用します。

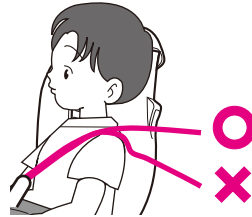
⚠警告

本品をご使用になる前に必ずお子さまの体格に合った肩ハーネスの高さに調節してください。正しいハーネスの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

●出荷時は一番下の高さに設定してあります。
●肩ハーネスの調節はお子さまを降ろした状態で行ってください。

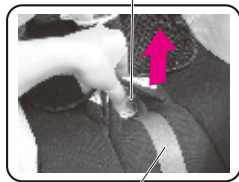
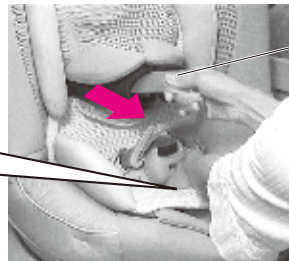
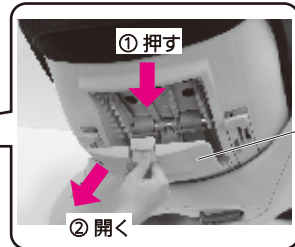
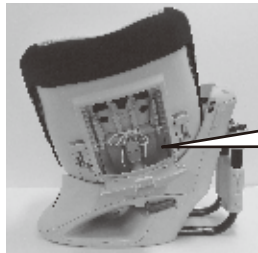
下記のイラストを参考にお子さまの肩に一番近く、お子さまの肩の高さからハーネスが背もたれに対して垂直になるように調節します。

後向き

前向き

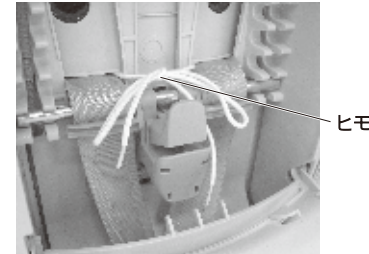
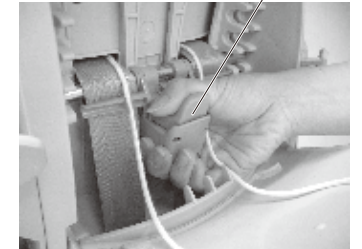
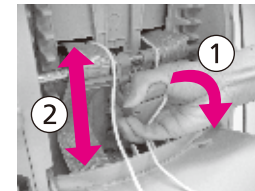
⚠警告

背もたれに対して垂直な高さにできない場合、後向きではお子さまの肩より下の肩ハーネスの高さに調節します。

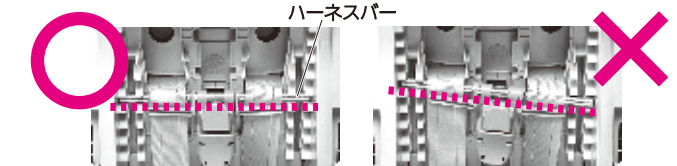
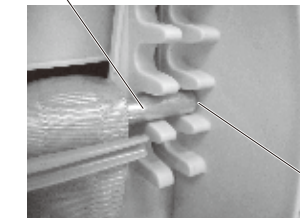
⚠警告

背もたれに対して垂直な高さにできない場合、前向きではお子さまの肩より上の肩ハーネスの高さに調節します。

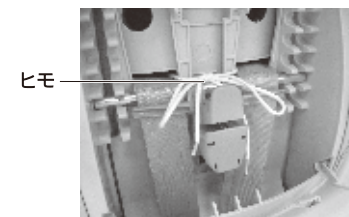
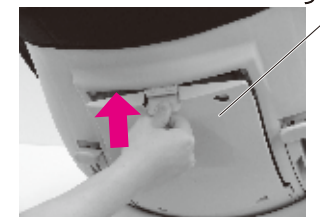
1 ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら、肩ハーネスを引っ張り、ハーネスをゆるめます。

2 シートの背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

⚠注意

リアカバーを開けたまま回転操作をしないでください。リアカバーが本体の台座部分にひっかかり、破損するおそれがあります。

3 ネックサポートのヒモをほどきます。

4 ハーネスレバーを握ります。

5 ハーネスレバーを手前に倒し（①）、そのまま適正な位置にハーネスの高さを合わせます（②）。

⚠警告

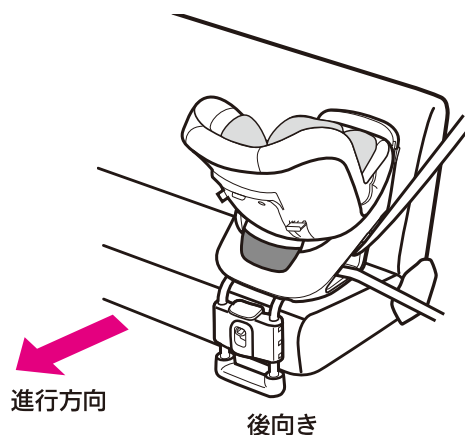
ハーネスバーが左右同じ高さの溝に入っていることを確認してください。

6 ハーネスバーをU字型の溝に確実に入れる。

⚠警告

ハーネスバーが左右のU字型の溝に確実に入っていることを確認してください。

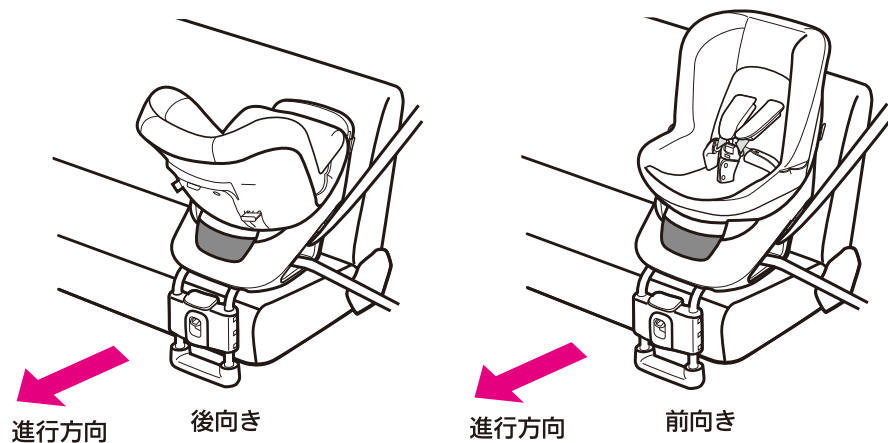
7 ネックサポートのヒモを結びます。

8 リアカバーを閉じ、シートを回転させロックします。

●出荷時は付属品、ハーネス位置は新生児用に合わせてあります。

新生児（生後1ヶ月以内）に使用する場合は特に次の事柄をお守りください。
・体重が2500g未満の新生児には使用できません。
・チャイルドシートにお子さまを乗せている間は必ず保護者の方がお子さまから目をはなさないようにしてください。
・お子さまの負担を考えて1時間ごとを目安に休憩をおとりください。

シートの向き

車の進行方向に対して後向きにします。

⚠警告
お子さまの体重が9kgを超えるまでは必ず後向きで使用してください。

【お子さまの体重が9kg以上13kg未満の場合】

後向き、前向きのどちらの向きでも使用できます。

「ママの手」クッションの使用方法

●「ママの手」クッションはグレードにより仕様が異なり、付属されていない場合があります。

参考
出荷時は既に取付けてあります。

ネックサポート
●首が据わらない頃のお子さまの首を支えます。

ヒップサポート
●股の位置をわかりやすくし、前方へのずれを防止します。

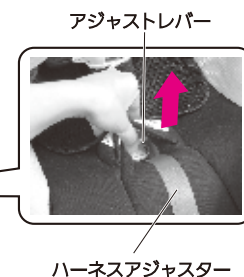
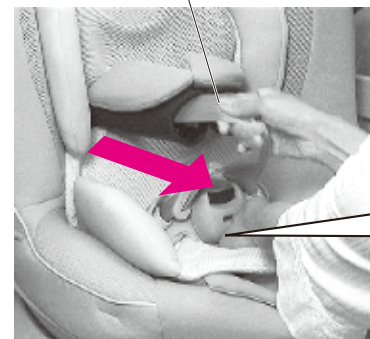
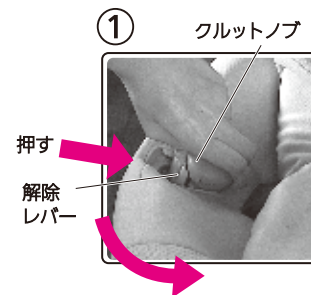
ヒップサポートはお子さまの体重が7kg未満の場合にお使いください。ネックサポート・ヘッドサポートはその後もお使いいただけますが、お子さまの成長には個人差があります。幅が狭くなってきたり、窮屈になった場合は取外してください。
（「ママの手」クッションの取外方法→P44）

⚠警告
●お子さまの体重が7kg以上の場合でも、お子さまをシートに座らせた時に肩ハーネスにたるみがある場合には、ヒップサポートを使用してください。

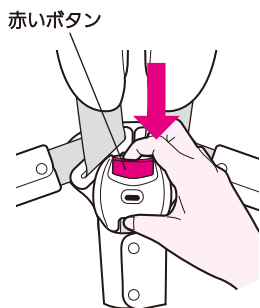
お子さまの乗せかた

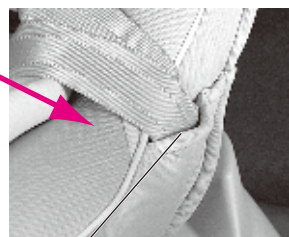
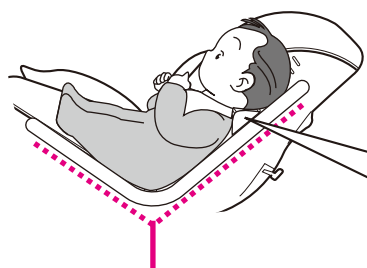
⚠警告
本品をご使用になる前に必ずお子さまの体格に合った肩ハーネスの高さに調節してください。正しいハーネスの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

●お子さまを乗せる時は、極端な厚着にしないでください。
厚着をしていると、ハーネスがしっかり拘束できない場合があります。

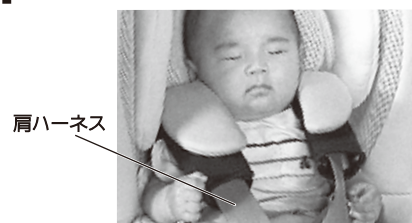
1 リクライニングを3段目にして、シートを回転させ横向きにします。(①)
ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

次ページへ続く→

お子さまの乗せかた

2 バックルの赤いボタンを下に押し、タングを外します。

ワンポイントアドバイス

本体側面にあるタンググホルダーにタングをかけておくとハーネスが邪魔になりません。（タングホルダーはグレードにより仕様が異なり付いていない場合があります。）

3 お子さまを適正な位置に座らせます。

① 一番深い位置におしりをのせる。

② ネックサポートの凸部に首の後ろをフィットさせる。

4 お子さまの腕を肩ハーネスに通します。

5 左右のタングをかさね合わせバックルに差込みます。インジケータが緑になっていることを確認します。

参考

タングをかさね合わせないと、バックルに差込めません。（安全基準により、タングをかさね合わせないと、バックルに差込めない構造になっています。）

⚠警告

バックルに異物が入らないように注意してください。入ってしまった場合には、そのまま使用せず本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。（預かり修理となります。）

6 お子さまの足や腕の位置、ハーネスカバーなどを整えてください。

⚠警告

肩ハーネスカバーのベルトにたるみがなくなるまで肩ハーネスカバーを下方向に引っ張ってください。

⚠注意

肩ハーネスパッドを外して使用しないでください。

7 お子さまの胸部と肩ハーネスの間に大人の指が1～2本入る程度までハーネスアジャスターを引きます。

⚠警告

ハーネスは正しく締め付けてご使用ください。正しい締め付けがされていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

指が1～2本入る程度になっているか、両方の肩ハーネスを確認してください。

次ページへ続く→

お子さまの乗せ降ろし（体重:2500g～13kg）

お子さまの乗せかた

8 ハーネスアジャスターを収納し、シートを後向きに回転させ、ロックします。

お子さまを乗せたあとの確認方法

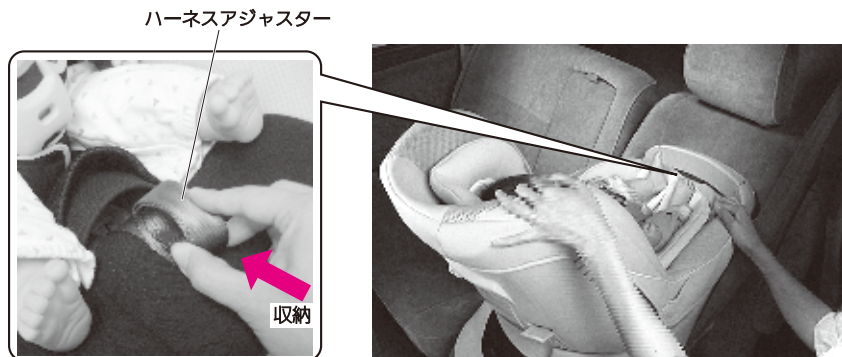
正しい肩ハーネスの高さに調節されている。

ハーネスがお子さまの胸と肩ハーネスの間に指1～2本分入る程度まで締めてある。

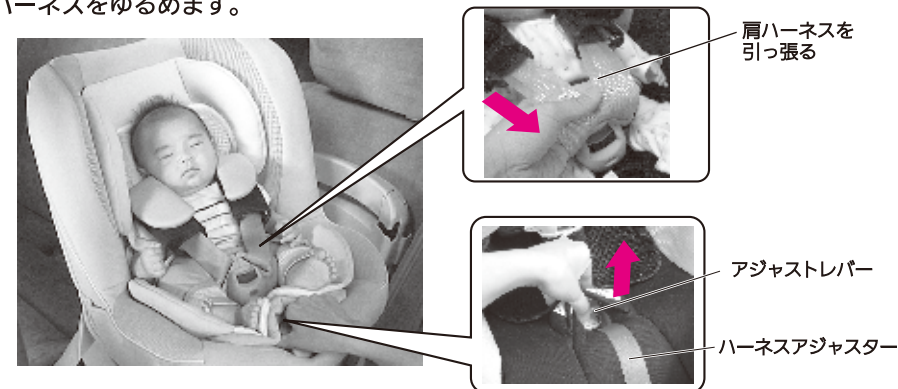
バックルのインジケーターが緑になっている。

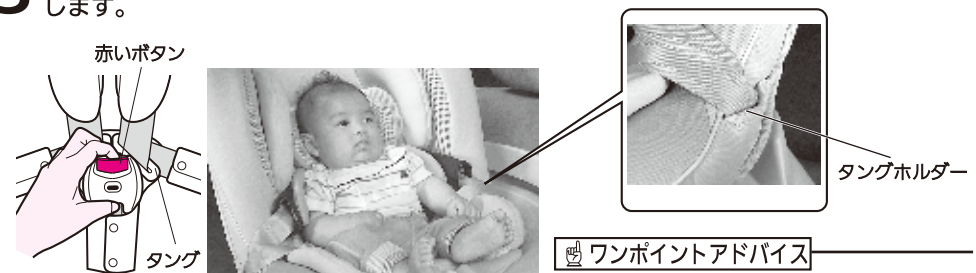
腰ハーネスが骨盤にあたっている。

ハーネスアジャスターが収納されている。

解除レバーがロックされて赤い表示が見えていない。

お子さまの乗せ降ろし（体重:2500g～13kg）

お子さまの降ろしかた

1 シートを回転させ横向きにします。
ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

2 ハーネスアジャスターを収納します。

3 バックルの赤いボタンを下に押し、タングをバックルから外し、肩ハーネスを腕から外します。

タングホルダー

ワンポイントアドバイス

本体側面にあるタングホルダーにタングをかけておくとハーネスが邪魔になりません。（タングホルダーはグレードにより仕様が異なり付いていない場合があります。）

4 お子さまを降ろします。

ワンポイントアドバイス

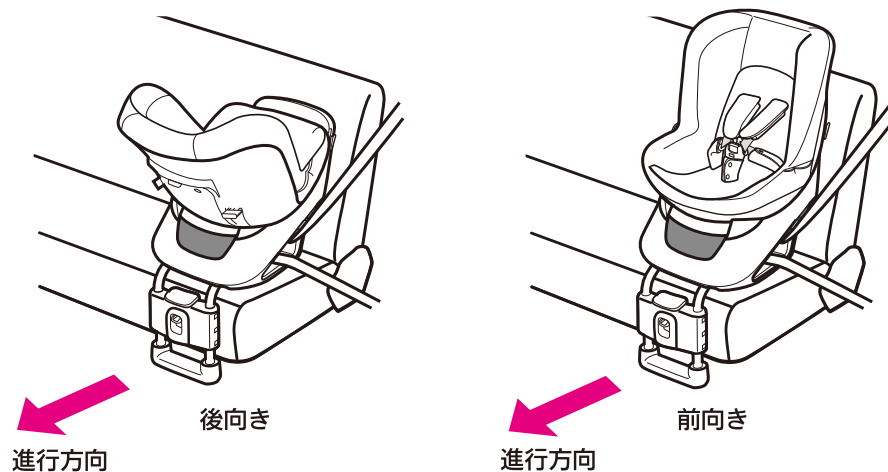
お子さまの首が据わっていない間は、首の後ろと、おしりの下を手で支えると降ろしやすくなります。

5 シートを回転させてロックします。

シートの向き

車の進行方向に対して前向きにします。

【お子さまの体重が9kg以上13kg未満の場合】

後向き、前向きのどちらの向きでも使用できます。

●出荷時は付属品、ハーネス位置は新生児用に合わせてありますので、お子さまの体格に合わせて調節してください。（肩ハーネスの調節方法→P30）（「ママの手」クッションの使用方法→P33）

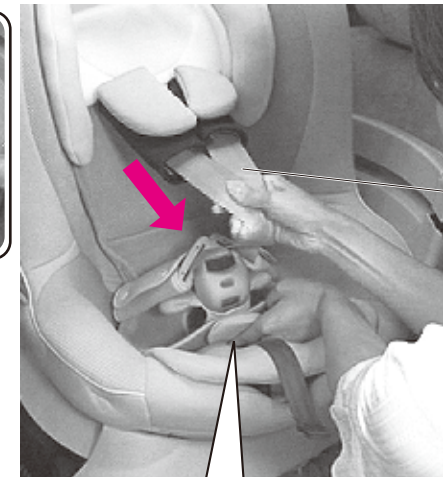
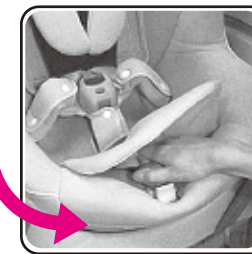
お子さまの乗せかた

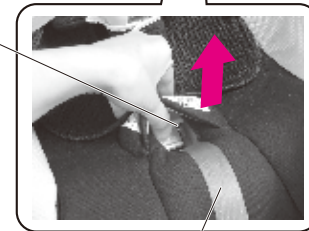
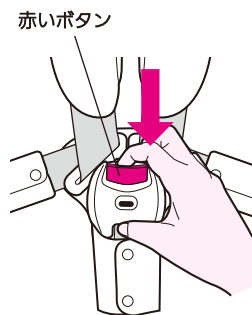
⚠警告

本品をご使用になる前に必ずお子さまの体格に合った肩ハーネスの高さに調節してください。正しいハーネスの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

●お子さまを乗せる時は、極端な厚着にしないでください。
厚着をしていると、ハーネスがしっかり拘束できない場合があります。

1 リクライニングを3段目にして、シートを回転させて横向きにします。(①)
ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

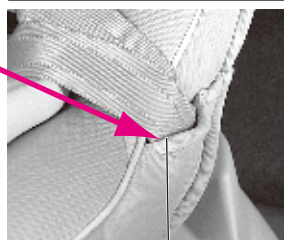
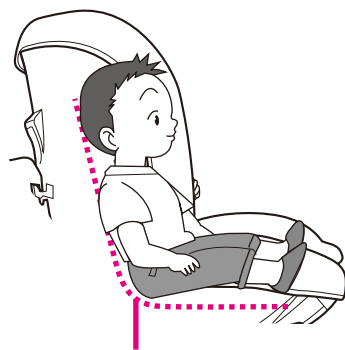
①

肩ハーネスを引っ張る

アジャストレバー

ハーネスアジャスター

次ページへ続く→

お子さまの乗せかた

2 バックルの赤いボタンを下に押し、タングを外します。

ワンポイントアドバイス

本体側面にあるタングホルダーにタングをかけておくとハーネスが邪魔になりません。（タングホルダーはグレードにより仕様が異なり付いていない場合があります。）

3 お子さまを適正な位置に座らせます。

深く座るようにシート奥までお子さまを乗せてください。

4 お子さまの腕を肩ハーネスに通します。

5 左右のタングをかさね合わせバックルに差込みます。インジケータが緑になっていることを確認します。

参考

タングをかさね合わせないと、バックルに差込めません。（安全基準により、タングをかさね合わせないと、バックルに差込めない構造になっています。）

警告

バックルに異物が入らないように注意してください。入ってしまった場合には、そのまま使用せず本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。（預かり修理となります。）

6 お子さまの足や腕の位置、ハーネスカバーなどを整えてください。

警告

肩ハーネスカバーのベルトにたるみがなくなるまで肩ハーネスカバーを下方向に引っ張ってください。

注意

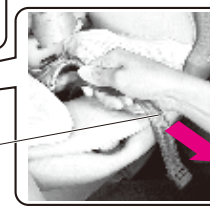
肩ハーネスパッドを外して使用しないでください。

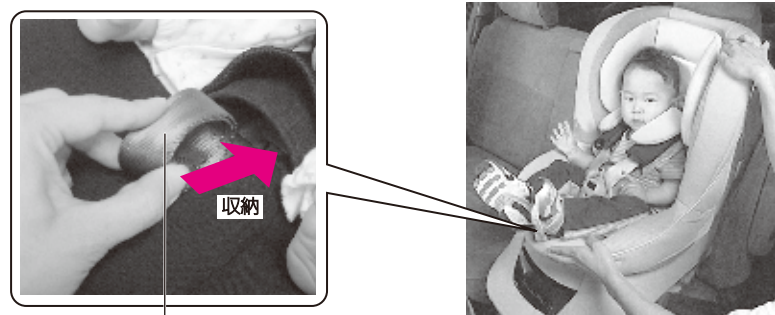
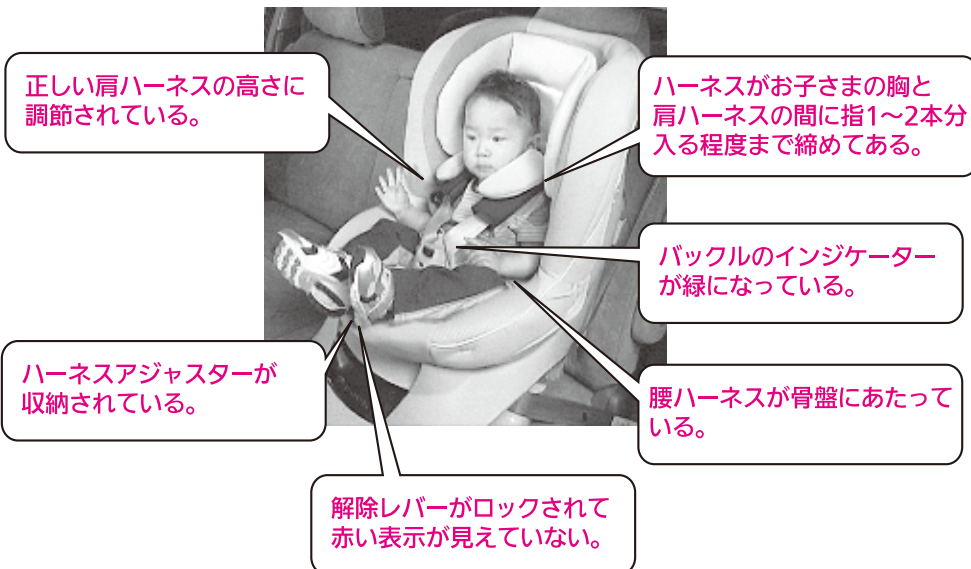
7 お子さまの胸部と肩ハーネスの間に大人の指が1～2本入る程度までハーネスアジャスターを引きます。

警告

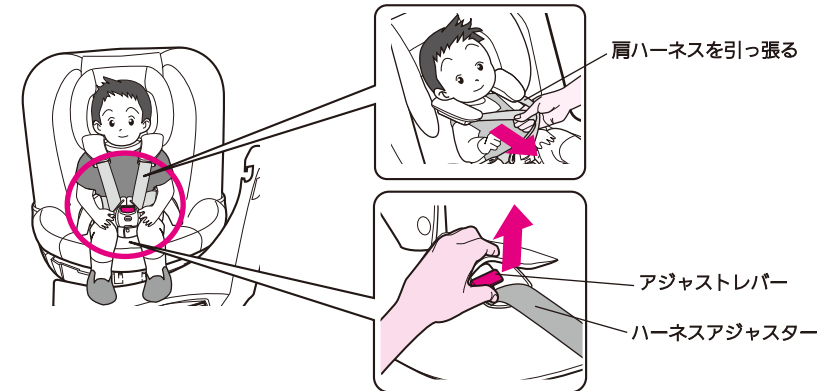
ハーネスは正しく締め付けてご使用ください。正しい締め付けがされていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

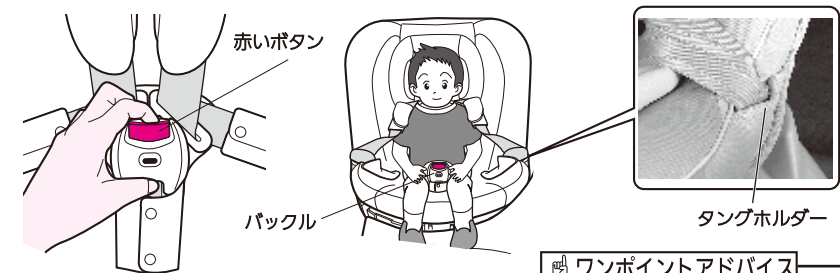
指が1～2本入る程度になっているか、両方の肩ハーネスを確認してください。

次ページへ続く→

お子さまの乗せかた

8 ハーネスアジャスターを収納し、シートを前向きに回転させ、ロックします。

お子さまを乗せたあとの確認方法

お子さまの降ろしかた

1 シートを回転させ横向きにします。
ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

2 ハーネスアジャスターを収納します。

3 バックルの赤いボタンを下に押し、タングをバックルから外し、肩ハーネスを腕から外します。

ワンポイントアドバイス

本体側面にあるタングホルダーにタングをかけておくとハーネスが邪魔になりません。（タングホルダーはグレードにより仕様が異なり付いていない場合があります。）

4 お子さまを降ろします。

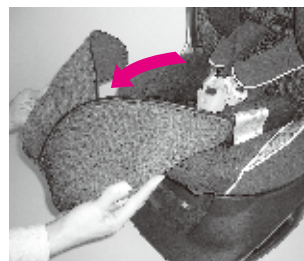
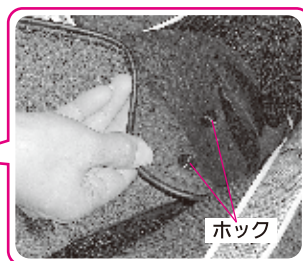
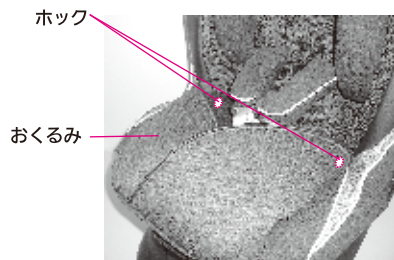
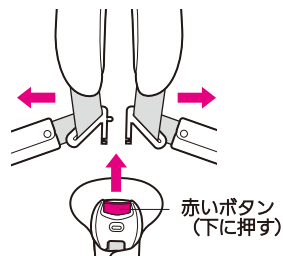
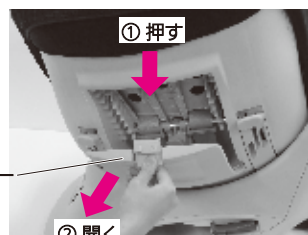
5 シートを回転させてロックします。

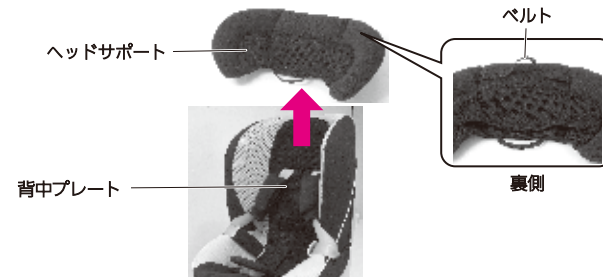
「ママの手」クッションの取外し方法

※「ママの手」クッションはグレードにより仕様や付属品が異なります。

1 おくるみ※を外します。「ママの手」クッションのヒップサポートにあるホック（左右2ヶ所）を外すと、おくるみが取外せます。

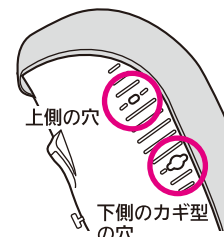
⚠注意
お子さまの足が当たるなど、窮屈になったらおくるみを取外してください。

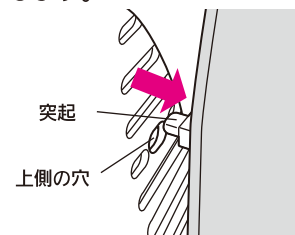
ホック
おくるみ

2 ヒップサポートを外します。タングをバックルから外すとヒップサポートが取外せます。

3 ネックサポートを外します。シートの背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

4 リアカバー内のヒモをほどくとネックサポートが外せます。

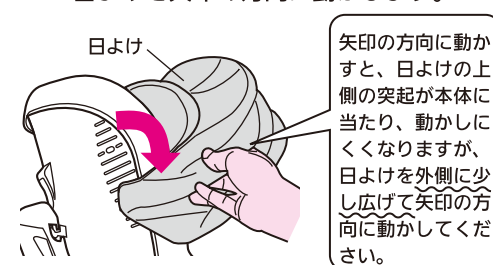
5 ヘッドサポート※を外します。
ヘッドサポート裏側のベルトを背中プレートから外します。

⚠注意
ヘッドサポートが外れないグレードの場合はカバー類の取外し方法（プレートカバーの外しかた）をご覧ください。
（カバー類の取外し方法→P46〜P48）

日よけの取外し方法

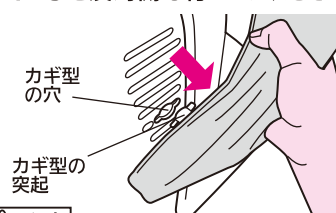
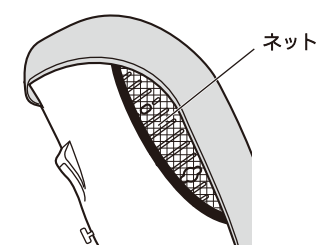
●日よけは本体の左右側面の穴（上下2ヶ所）に固定されています。
左右片側ずつ順番に取外します。

参考
日よけの取外方法を動画で確認できます。

上側の穴
下側のカギ型の穴

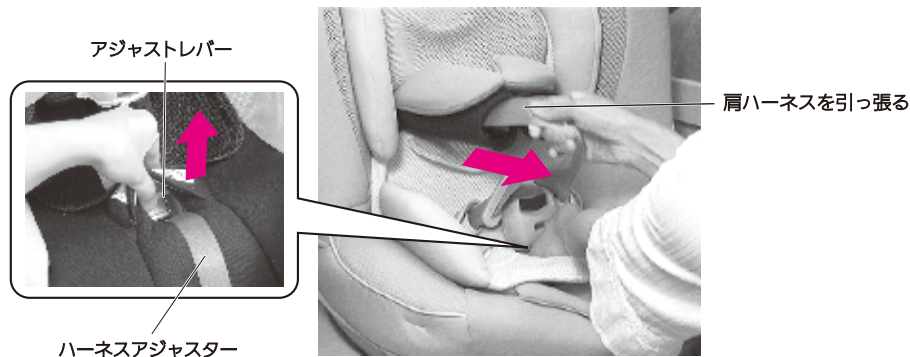
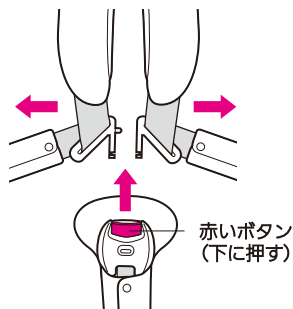
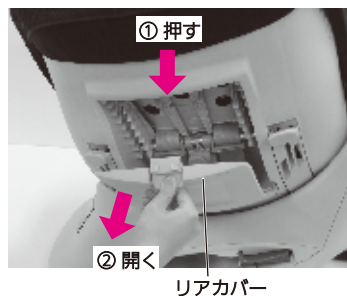
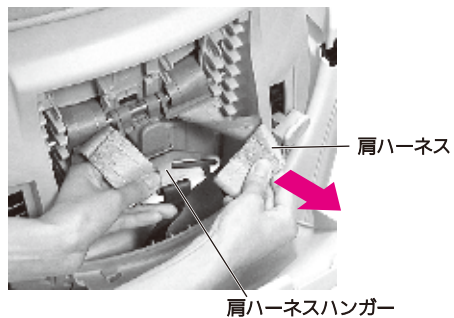
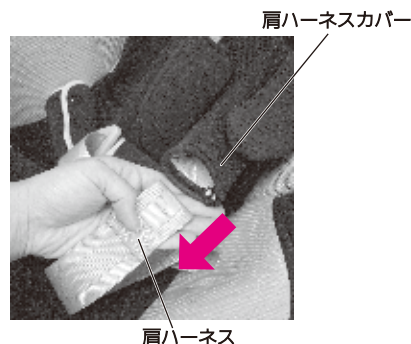
1 本体の上側の穴から日よけの突起を外します。

2 突起を穴から外したままの状態で、日よけを矢印の方向に動かします。

日よけ

矢印の方向に動かすと、日よけの上側の突起が本体に当たり、動かしにくくなりますが、日よけを外側に少し広げて矢印の方向に動かしてください。

3 日よけを外側に引き、下側のカギ型の穴から日よけのカギ型の突起を外します。
1〜3を反対側も行ってください。

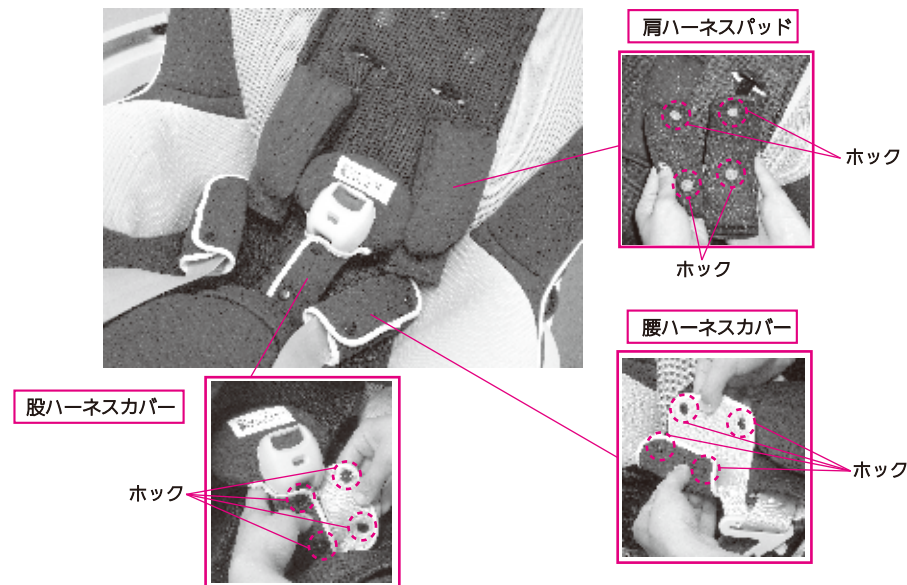
●取外したあとは、本体側面のネットを出して取付穴をふさいでください。

⚠注意
破損やケガの原因になりますので無理やり外さないでください。

カバー類の取外し方法

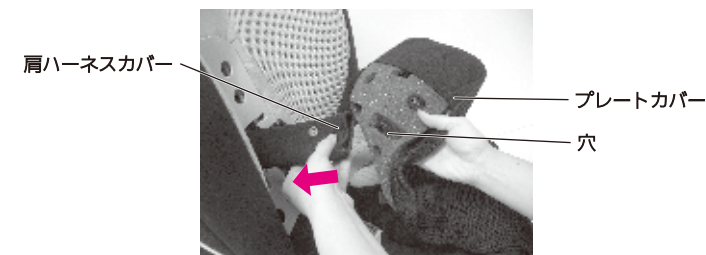
●カバー類はグレードにより仕様が異なり、付属されていないパーツがあります。

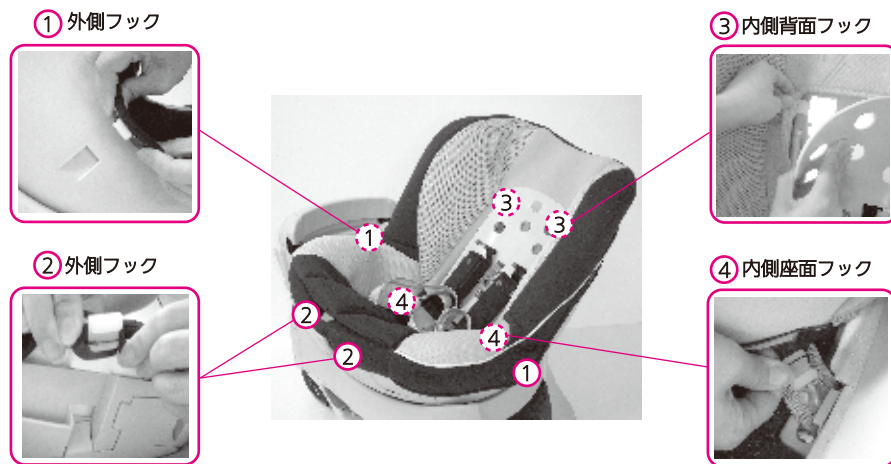
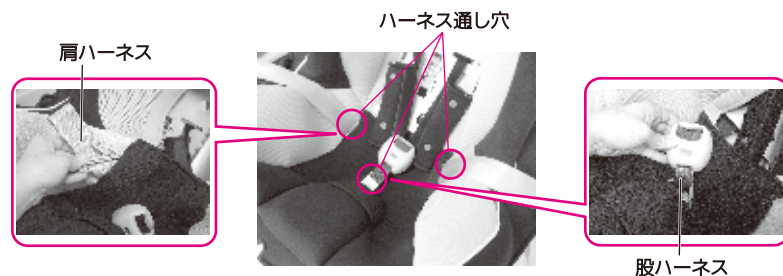
1 ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

2 タングをバックルから外します。日よけや「ママの手」クッションが付いている場合は外してください。

3 シート背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

4 肩ハーネスを肩ハーネスハンガーから取外します。

5 本体正面の肩ハーネスカバーから肩ハーネスを引き抜きます。

使用中･使用後の取扱方法

6 肩ハーネスパッド、腰ハーネスカバー、股ハーネスカバーを外します。

⚠注意

ホックを外す時は、無理な力をかけず、なるべくホックに近い位置を持って外してください。

7 プレートカバーを外します。
肩ハーネスカバーは外せませんので、プレートカバーの穴から肩ハーネスカバーを引き抜いてください。

次ページへ続く→

カバー類の取外し方法

8 本体カバーを外します。フックが合計で8ヶ所あります。外側の4ヶ所を外したら内側の4ヶ所を外します。

9 本体からカバーを外し、ハーネス通し穴から股ハーネス、肩ハーネスを引き抜きます。

10 本体カバーを取外し、リアカバーを閉じます。

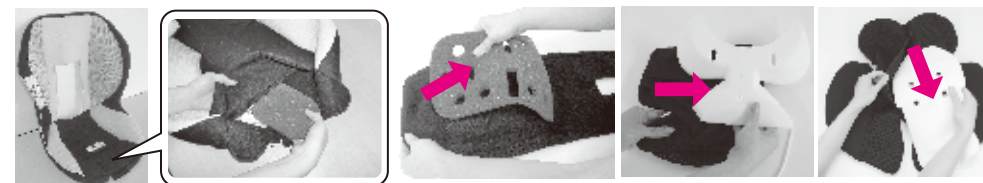
お手入れのしかた

⚠警告

本品の樹脂部分やハーネスを洗浄する際に、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。破損につながるおそれがあります。

洗濯上の注意	
	30℃以下の液温で手洗いしてください。
	塩素系漂白剤による漂白はできません。
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	ねじり絞りは避けてください。
	形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。

⚠注意

●肩ハーネスカバー・日よけは洗濯できません。
●本品に付属しているクッション類は洗濯できません。本体カバー、プレートカバー、ネックサポート、ヒップサポートを洗濯する際は、中のクッションを取出してください。クッションが汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を布などに塗布し、水気をよくしぼってから拭き取ってください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

本体カバー

プレートカバー

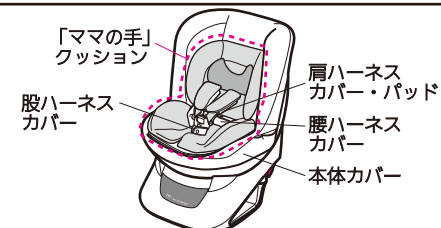
ネックサポート・ヒップサポート

●破損の原因になりますので、クッションを強く引っ張らないでください。

参考

クッションを軽く折り曲げると、取出しやすくなります。

参考

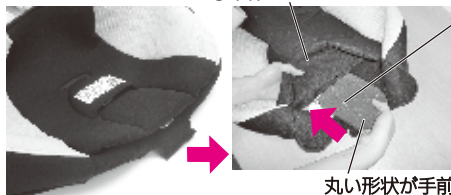
本品はクッション及び、カバー類にウレタンフォームを使用しています。ウレタンフォームの特性上、変色する場合がありますが、ご使用上の問題はございません。

クッションの戻しかた

●本体カバーのクッション

本体カバーのフラップをめくり（①）、クッションをポケットに入れる（②）

⚠注意

クッションの向きに注意してください。

〈完成〉

●プレートカバーのクッション

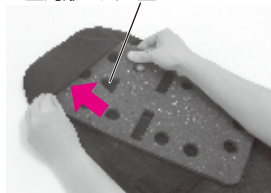
プレートカバー裏側の上下のポケットにクッションを入れます。

①上のポケットに入れる

⚠注意

クッションの向きに注意してください。

参考

クッションを軽く折り曲げると入れやすくなります。

②下のポケットに入れる。

●ネックサポート

ネックサポート裏側の開口部からクッションを入れます。

①右側の下から開口部にクッションを入れる　②左側を入れる。　③上を左右順番に入れる。　〈完成〉

⚠注意

クッションの表裏、向きに注意してください。

参考

クッションを軽く折り曲げると入れやすくなります。

●ヒップサポート

ヒップサポート裏側の開口部からクッションを入れます。

①上側にクッションを入れる。　②下側を入れる　〈完成〉

⚠注意

クッションの表裏、向きに注意してください。

参考

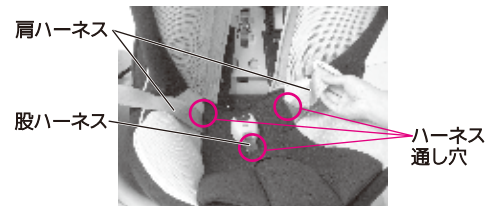
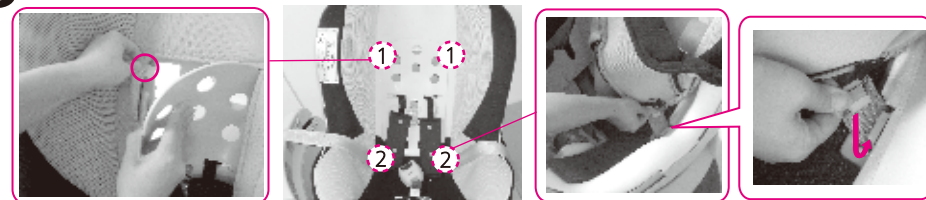
クッションを軽く折り曲げると入れやすくなります。

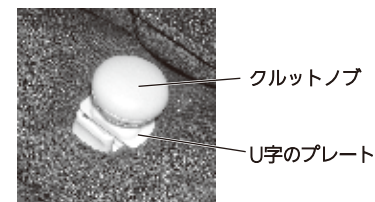
使用中・使用後の取扱方法

カバー類の取付方法

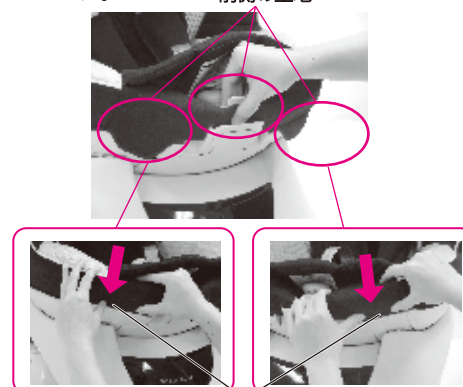
●カバー類はグレードにより仕様が異なり、付属されていないパーツがあります。

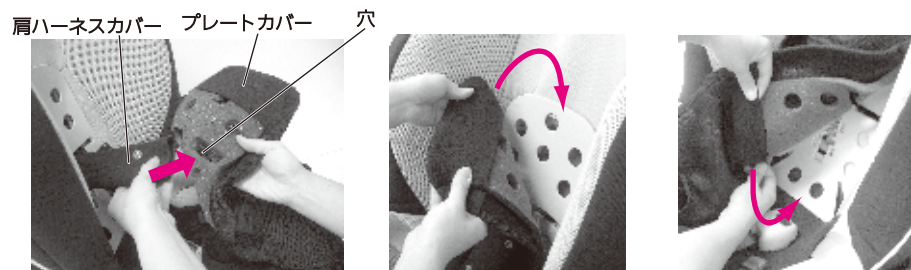
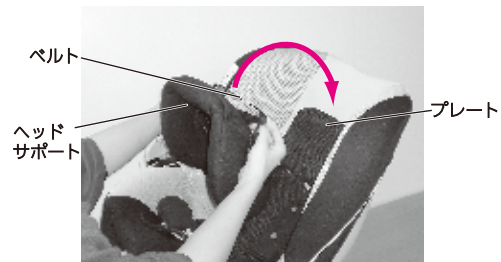
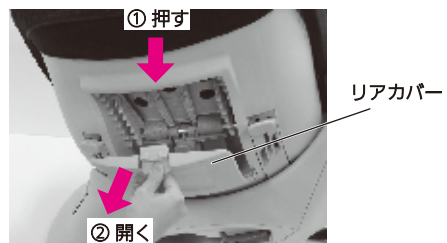
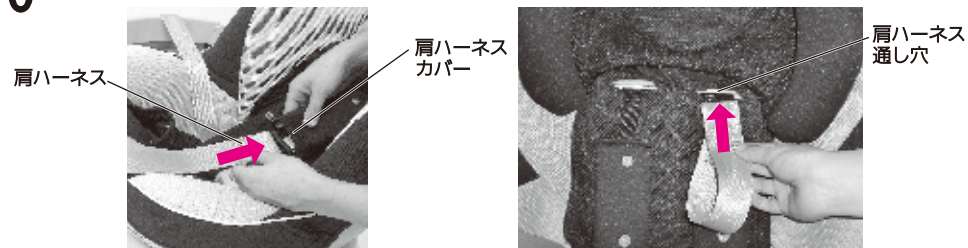
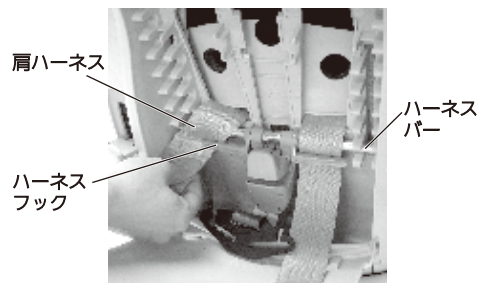
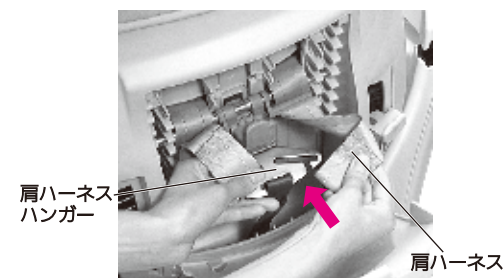
1 本体にカバーを置き、ハーネス通し穴に股ハーネス、肩ハーネスを通します。

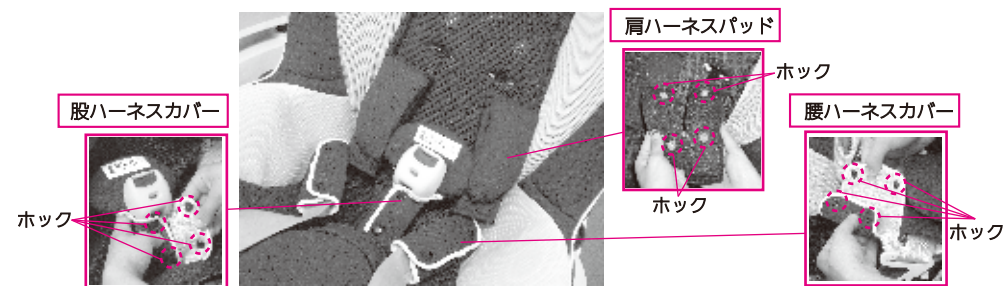
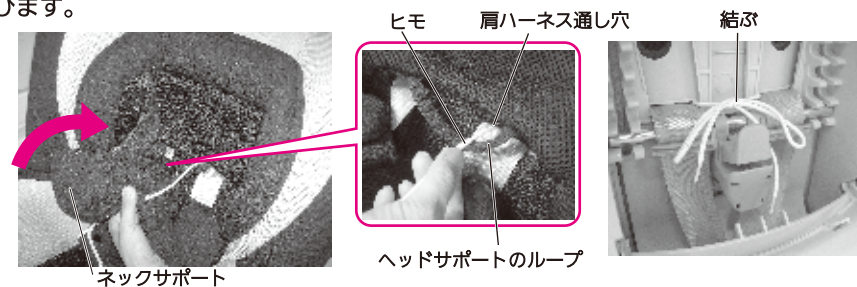
2 本体にカバーをかぶせます。

3 内側背面フック、座面フックをかけます。

① 内側背面フック　② 内側座面フック

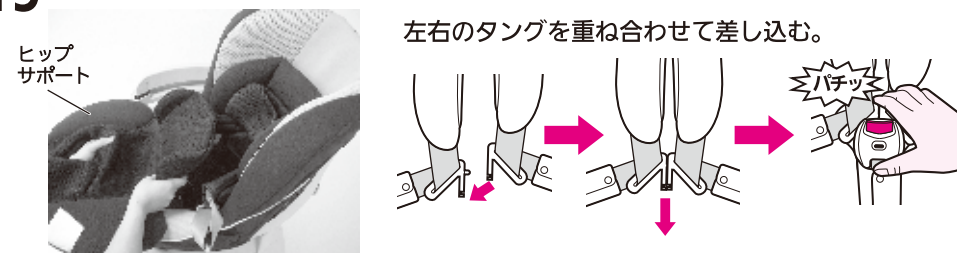
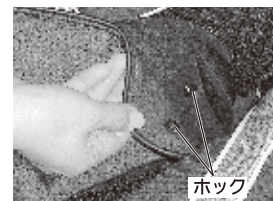
4 本体カバーの穴をクルットノブ下側のU字のプレートに引っ掛けます。

5 外側のフック4ヶ所をかけ、ネットを出してください。

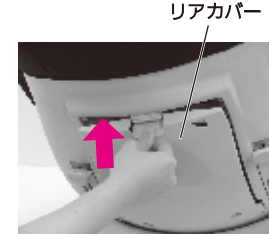
6 前側の生地を本体のすき間に差し込みます。

次ページへ続く→

カバー類の取付方法

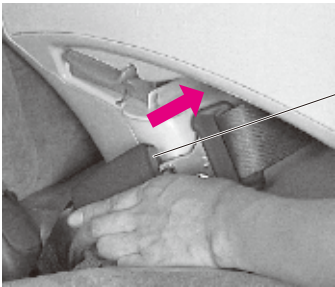
7 肩ハーネスカバーをプレートカバーの穴に通し、プレートカバーを取付けます。

8 ヘッドサポート裏側のベルトをプレートにかけます。

9 シートの背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

10 肩ハーネスを肩ハーネスカバーに通し、肩ハーネス通し穴に通します。

11 ハーネスバー下のハーネスフックに肩ハーネスを引っかけます。

12 肩ハーネスを肩ハーネスハンガーにかけます。

使用中・使用後の取扱方法

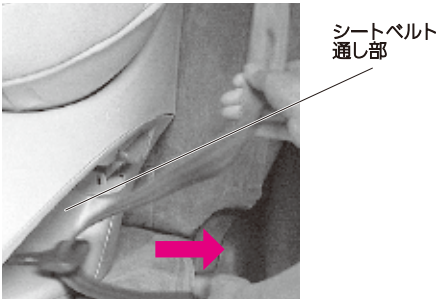
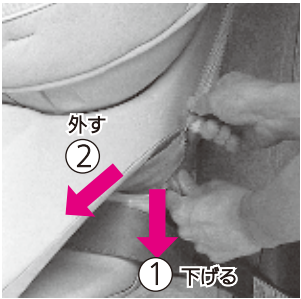
13 肩ハーネスパッド、腰ハーネスカバー、股ハーネスカバーを取付けます。
（グレードによっては仕様が異なり、付いていない場合があります。）

14 ネックサポートのヒモをヘッドサポートのループ、肩ハーネス通し穴の順に通し、結びます。

15 ヒップサポートを置き、タングをバックルに差し込みます。

左右のタングを重ね合わせて差し込む。

16 ヒップサポートにあるホック（2ヶ所）におくるみのホックを留める。

17 ネックサポートの生地をヒップサポートの上に出します。

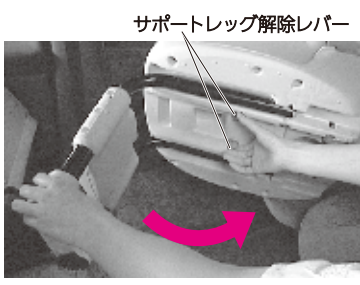
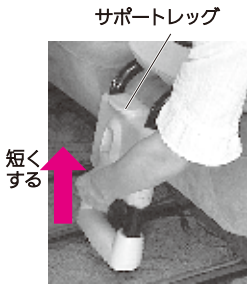
18 リアカバーを閉じます。

車からの取外し方法

1 シートが前向きにロックされていることを確認してください。

2 バックルのPRESSボタンを押し、タングを外します。

3 ベルトストッパーを下げて（①）ベルトストッパーからシートベルトを外します（②）。

4 シートベルト通し部からシートベルトを取出します。

5 サポートレッグを一番短くします。本品を横に寝かせてサポートレッグ解除レバーをつまみながらサポートレッグをベース前面から回転させ背面にしっかりと固定します。

サポートレッグ

短くする

参考

作業するスペースを十分に確保し、指をはさんだり、周囲のものにぶつけないように注意してサポートレッグを回転させてください。

6 本品をおこし、正しい持ち方で運んでください。（本品の正しい持ちかた→P3）

使用中・使用後の取扱方法

製品仕様

製品サイズ	H710×W470×D650mm （リクライニングが1段目、サポートレッグを収納時、日よけを除いた状態）
製品質量	13.7kg （日よけは除く）

製品材質

本体材質	ポリプロピレン（一部ポリアセタール、ナイロンなど）
本体カバー・「ママの手」クッションカバー	ポリエステル/ウレタンフォーム
本体クッション	発泡ポリスチレン、ウレタンフォーム
「ママの手」クッション中身	ウレタンフォーム

保管方法

●サポートレッグは一番短い状態にして、ベース背面に固定してください。
●本品に市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

廃棄方法

●お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分、廃棄してください。
●事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペン等で目立つところに記入してください。

参考

事故にあった場合は、車のシートやシートベルトを自動車ディーラー等で点検することをお勧めします。

よくあるご質問

お客様からのお問い合わせが多いご質問を掲載いたしました。
「よくあるご質問」をご覧になっても解決しない場合は弊社サービスセンターへお問い合わせください。

	状　況	対処方法	参照
取付け	なぜ助手席に取付けてはいけないの？	法規制では取付不可ではありませんが、衝突時に他の座席よりも損傷を受ける可能性が高く危険です。より安全な後部座席への取付をお願いします。	—
	どの座席に取付けたらいいの？	後部座席に取付けできます。路上でのお子さまの乗せ降ろしや、運転席からお子さまの様子を伺いやすいなど、助手席側の方がより便利にご使用いただけると思います。（お車により取付けできない座席がございますので、詳細は店頭または弊社ホームページの適合情報をご確認ください。）	—
成長に応じた使用方法	後ろ向き取付けから前向き取付けに切り替えるタイミングは？	お子さまの体重が 9kg を超えたら前向きでご使用可能です。ただし、13kg までは可能な限り衝突時の安全性能の高い後向きでのご使用をおすすめします。（小さなお子さまは骨格が未熟であるため、衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止める後向きのご使用が安全です。）	→P6
	ママの手クッションはいつまで使用できますか？	ヒップサポートはお子さまの体重が 7kg 未満の場合にご使用ください。ネックサポート・ヘッドサポートはその後もご使用いただけますが、お子さまの成長には個人差があります。幅が狭くなったり、窮屈になった場合は取外してください。	→P33 →P44
ハーネス（ベルト）	ハーネス（ベルト）が短いのですが	お子さまの体重が 7kg 以上の場合はヒップサポートを取外してください。	→P44
		体重 7kg 未満で、ハーネスが短い場合は以下の 2 点をご確認ください。	
		①お子さまは厚着をしていませんか？ （極端な厚着は避けていただき、お車のエアコン等で温度を調整して下さい。また厚着をしているとハーネスがしっかり拘束できない場合があります。）	—
		②肩ハーネスは適切な高さに調節されていますか？ （お子さまの肩位置に近く、背もたれに対して垂直な高さに調節してください。）	→P30〜31

使用中・使用後の取扱方法

	状　況	対処方法	参照
ハーネス（ベルト）	肩ハーネスハンガー（肩ベルトの調整金具）が、見当たらない。	肩ハーネスハンガーは、本品のハーネスアジャスターに縫い付けてあります。	→P8
		肩ハーネス（ベルト）が短く調節されている場合、下に入り込んでいると考えられます。 肩ハーネスをゆるめると自動的に上がってきます。	→P17
	チャイルドシートから子供が抜け出そうとしますが、抜け出せないようにする商品はありませんか？	弊社ではお取扱いがございません。（緊急脱出時の妨げになるため） 下記に抜け出そうとする要因とアドバイスを記載いたしましたので、参考になさってください。	
		①お子さまは暑がっていませんか？ チャイルドシートに乗る時は厚着は避けていただき、お車のエアコン等の温度調節をお試しください。	—
		②肩ハーネスは適切な高さに調節されていますか？ 成長に応じた適切な高さに調節されていないとお子さまが窮屈に感じられる場合があります。 お子さまの肩位置に近く、背もたれに対して垂直な高さに調節してください。	→P30〜31
		③ママの手クッションのご使用方法は適切ですか？ ヒップサポートはお子さまの体重が 7kg 以上で、窮屈になった場合は取外してください。 ネックサポート・ヘッドサポートは 7kg 以上のお子さまにもご使用いただけますが、お子さまの成長には個人差があります。幅が狭くなったり、窮屈になった場合は取外してください。	→P33 →P44
		④お子さまは飽きていませんか？ 長時間同じ姿勢でいるとぐずる原因になります。 適度な休憩を取るなど、気分転換の心がけをお願いします。	—
品番／ロット番号（製造番号）	品番やロット番号（製造番号）はどこに記載されていますか？	本体のベース背面のシールに記載されております。	—
お手入れ方法	カバー、新生児プロテクターの洗濯方法は？	液温は、30℃を限度とし、弱く手洗いすることをおすすめします。	→P49

次ページへ続く→

よくあるご質問

	状況	対処方法	参照
パーツ購入	替えカバーなどを購入できますか？	替えカバーやパーツは部品としてご購入いただけます。ご購入をご希望の場合は、お手数ですが品番をご確認の上、弊社サービスセンターへお問い合わせください。	裏表紙
修理	壊れてしまったが、修理はできますか？	破損や故障の状況を確認させていただきますので、お手数ですが品番をご確認の上、弊社サービスセンターへお問い合わせください。	裏表紙
	パーツ交換はできますか？	お客様ご自身でのパーツ交換はできません。交換をご希望の場合は、お手数ですが品番をご確認の上、弊社サービスセンターへお問い合わせください。	裏表紙
トリプル保証	トリプル保証って何ですか？	登録システムへご登録いただいたお客様に無償でサービスさせていただいている保証制度です。 ①4年間の製品ロング保証 ②万一の交通事故の際にチャイルドシート無料交換 ③チャイルドシート見舞金制度 （詳細は商品に同梱包されております「トリプル保証お申し込みのご案内」をご確認ください。）	—
法規制	何歳まで使用しなければならないのですか？	道路交通法が改正され、2000年4月1日から6才未満のお子様には、チャイルドシート・ジュニアシートの使用が義務付けがられています。 弊社では、6才以上のお子さまにもジュニアシートの着用をおすすめしております。（車のシートベルトは大人の身長に合わせて設計されているため、ジュニアシートを使用せずに座高の低いお子さまがシートベルトを装着すると、シートベルトが首にかかり大変危険です。） （お子さまの体格に適したチャイルドシートの情報は弊社ホームページをご覧ください）	—

保　証　書

〈保証規定〉

1. 保証期間内（ご購入日より4年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   A. 樹脂（プラスチック）部品の紫外線等自然劣化による変色。
   B. 本体カバー等の縫製部品の汚れや損傷。
   C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   G. 本証書のご提示がない場合。
   H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
6. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
7. 日本国内のみ有効

CARMATE　株式会社カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

- - - - - - - - キリトリ線 - - - - - - - -

CARMATE

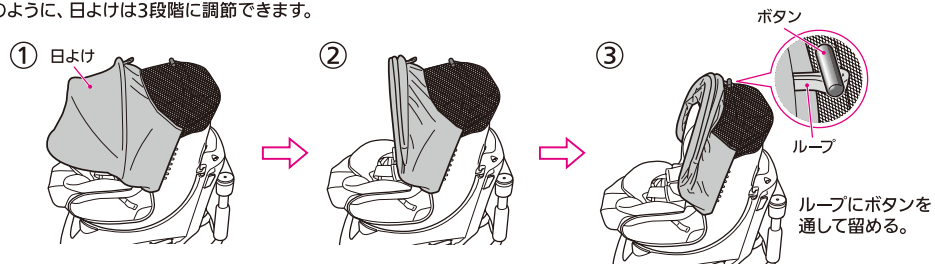
2070726B

エールベベ・クルットNT2

補足説明書

このたびはエールベベ・クルットＮＴ2をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品をご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
本品の「商品名」と「本体カバー」「日よけ」の仕様は、取扱説明書・取付ガイドDVDの内容と一部異なります。
取扱説明書・取付ガイドDVDと併せてご覧いただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。

日よけを調節するには

図のように、日よけは3段階に調節できます。

本体カバーを取り外すには

1 ヒップサポート、ネックサポート、ヘッドサポート、日よけ、股ハーネスカバーを取り外す。

「取扱説明書」の44～45、47ページを参照してください。

2 フックとホックを外し、本体カバーを取り外す。

1 側面のフックを外す。（反対側も同様に外す。）

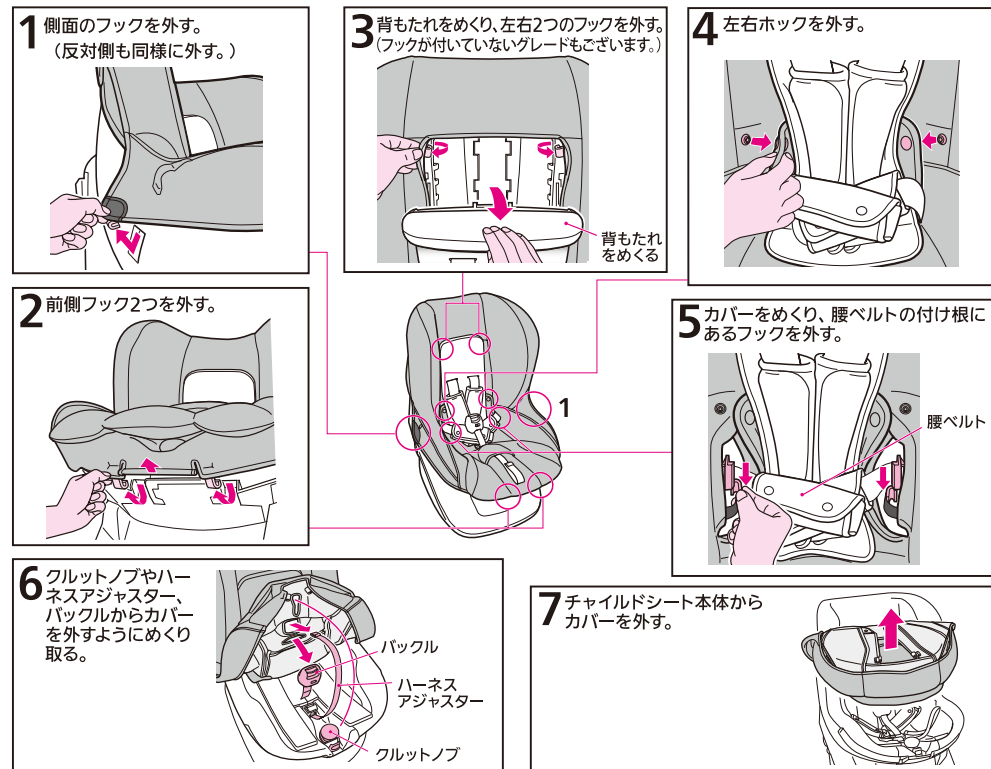
3 背もたれをめくり、左右2つのフックを外す。（フックが付いていないグレードもございます。）

4 左右ホックを外す。

2 前側フック2つを外す。

5 カバーをめくり、腰ベルトの付け根にあるフックを外す。

6 クルットノブやハーネスアジャスター、バックルからカバーを外すようにめくり取る。

7 チャイルドシート本体からカバーを外す。

本体カバーを取り付けるには

1 チャイルドシート本体にカバーをかぶせる。

1 図のように、カバーをチャイルドシート本体にかぶせて置く。

2 バックルやハーネスアジャスター、クルットノブをカバーのそれぞれの穴に通す。

3 クルットノブ下側にある樹脂板に生地を挟み込む。

2 カバーのフックとホックを留める。

1 背もたれをめくり、左右2つのフックを取り付ける。（フックが付いていないグレードもございます。）

2 腰ベルトの付け根にフックを取り付ける。

3 ①ホックの付いたカバーを背もたれの裏側にはさみ、②左右のホックを留める。

① 背もたれの裏側へカバーを挟み込む。

4 ①前側フックを取り付け、②前側フックの間のカバーを図のようにチャイルドシートに挟み込む。

5 左右の側面フックを取り付ける。